

大学生結婚・子育て未来体験支援事業
大学生の子育て家庭訪問体験 学生アンケート結果

神戸新聞社 地域総研

(1)実施概要

対象者：子育て家庭訪問体験事業参加大学生

(初回訪問時の回答を集計、自由記述は2回目以降も記載)

調査方法：各学生が子育て家庭訪問体験をした直後にWEBアンケートで実施

体験の実施期間：2019年7月6日～2020年2月5日

(2)アンケート回答者：延べ人数 87名(実数 72名)

【属性】※[]内は実数

(性別)		(大学別)		(学年別)	
	人数	大学名	人数	学年	人数
男性	3 [3]	甲南大学	4 [4]	1回生	36 [30]
女性	84 [69]	甲南女子大学	2 [2]	2回生	16 [16]
合計	87 [72]	神戸大学	15 [6]	3回生	33 [24]
		神戸教育短期大学	18 [18]	4回生	0 [0]
		神戸松蔭女子学院大学	2 [2]	修士1回生	2 [2]
		神戸親和女子大学	2 [2]	合計	87 [72]
		神戸常盤大学	20 [20]		
		兵庫教育大学	8 [8]		
		兵庫県立大学	16 [10]		
		合計	87 [72]		

【訪問前の意識について】

- ・普段、3歳以下の子どもと接する機会が「よくある」…8% (4頁：問9参照)
- ・活動に参加する前の育児に対するイメージ「育児がうまくできるか不安」…72% (5頁：問12参照)



【訪問後の意識について】

- ・今回の訪問により、育児に対する不安が「軽減された」…92% (22頁：問17参照)
- 軽減されたと回答した学生の回答内容 (23頁～：問18)
- 軽減されなかったと回答した学生の回答内容(26頁～：問18)
- ・訪問後に、結婚に対するイメージが「良くなった」…80% (27頁：問19参照)

(4) アンケート質問項目

問1	子育て家庭を訪問した日付を教えてください。	省略
問2	訪問した時間(家庭にいた時間)を教えてください。	省略
問3	あなたの氏名を入力してください。	省略
問4	あなたが所属する大学名、学部・学科名、学年を教えてください。	省略
問5	訪問先のお宅の保護者のお名前を教えてください。	省略
問6	訪問先のお宅のお子さまの性別と年齢を教えてください。	省略
問7	訪問先のお宅のご住所を教えてください。	省略
問8	あなたがこの事業に参加しようと思った理由(動機)は何ですか?率直にお聞かせください。	P3.4

■あなたの普段の行動や意識についておたずねします。

問9	あなたは、普段、3歳以下の子どもと接する機会がどの程度ありますか?	P4
問10	どんな接し方を経験したことがありますか?あてはまるもの全てを選んでください。	P4

■今回の事業に【参加する以前】の、あなたの意識についておたずねします。

問11	あなたは、一般的に「子ども」が好きなほうでしたか?	P5
問12	今回の体験以前に、「子育て」について、あなたはどのようなイメージを持っていましたか?あてはまるものを【3つまで】選んでください。	P5

■家庭を訪問したときのことについておたずねします。

問13	訪問先では、具体的にどのようなことをしましたか?できるだけ具体的に教えてください。	P6
問14	訪問先には何のおもちゃを持参しましたか。どのようなことを考えて選びましたか?また、子どもの反応はどうでしたか?	P11
問15	実際に子どもと接してみて、どのようなことを感じましたか?どんなことでも結構ですので、具体的にお聞かせください。	P17
問16	今回の訪問で、子どもと関わるのは楽しかったですか?	P22
問17	今回の訪問により、あなたの子育てに対する不安は軽減されましたか?	P22
問18	前問でお答えになった内容について、どのような点についてそう思われましたか?どんなことでも結構ですのでお聞かせください。	P23
問19	今回の訪問後に、結婚に対するイメージは変わりましたか?	P27
問20	今回の訪問を経験して、将来的に結婚し、家庭を築くことに肯定的なイメージを持ちましたか?	P27
問21	今後あなたは、子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いますか?また、どんなことをしてみたいですか?	P28
問22	今後も、大学生と子育て世帯のマッチング事業を続けていく場合に、どのようなことが必要だと思いますか?今回の経験を踏まえて、要望やご意見などをお聞かせください。	P31

(5) アンケート結果

問1: 子育て家庭を訪問した日付を教えてください。 …省略

問2: 訪問した時間(家庭にいた時間)を教えてください。 …平均 約3時間

問3: あなたの氏名を入力してください。 …省略

問4: あなたが所属する大学名、学部・学科名、学年を教えてください。 …(2)属性参照

問5: 訪問先のお宅のお名前を教えてください。 …省略

問6: 訪問先のお宅のお子さまの性別と年齢を教えてください。 …省略

問7: 訪問先のお宅のご住所を教えてください。 …省略

問8: あなたがこの事業に参加しようと思った理由(動機)は何ですか? 率直にお聞かせください。 ※回答抜粋

- ・子どもが好きで、子どもとふれあい、保護者の方から育児の楽しさや大変さを色々聞きたいと思ったから。
- ・普段の生活で乳幼児と接する機会はほぼ無く、いざ自身が親となった時にどうしていいかわからなくなってしまうかもしれないと思った矢先、大学の講義でこの事業を知り、子育てについてぜひ知っておきたいと思ったから。
- ・子どもと接することが好きだったし、将来子どもと接することのできる環境で働きたいと思っているので、そのためのきっかけや経験になればよいなと思ったから。
- ・保育園や幼稚園ではなく家での子どもの過ごし方を体験してみて親子の関係性の大切さを学びたかったから。
- ・子どもと遊ぶのが好きだから
- ・少しでも多く、子どもと触れ合える機会が欲しかった為。
- ・子どもが好きで、将来子どもと関わる仕事に就きたいと思っているので、実際に子どもと接したり、幼い子を持つ家庭のリアルな話が聞きたかったから。
- ・こういう体験も今後の人生の役に立つかなと思ったのと、こういう機会でないとならぬとそういった体験に参加することが難しいと思ったからです。
- ・子どもと関わる機会があまりなく、子育てを体験したいと思ったから。
- ・子育て家庭の実態を詳しく知りたかったから。
- ・子どもと関わる機会が欲しかったから。
- ・園や施設ではなく、家庭で過ごす子どもの様子を見たかったから。
- ・年の離れた子どもと関わる機会がなかったので、自分の子どもができる前に一度体験してみたかったから
- ・お子様がいる家庭で、親御様がどのように子育てをなさっているのかを直接見て聞いて知りたいと思ったから。そしてそれを今後に生かしたいから。
- ・保育士になるまでの期間に、より多くの子どもに触れて経験を積みたいと思ったからです。
- ・幼稚園教諭になるために子どもとふれあい経験を増やしたいと思ったからです。あとは子どもが好きだからです。
- ・友人に誘われて興味を持ったため。
- ・友達に紹介されて、こういった経験も大事かなと感じ、参加しようと思いました。
- ・学校でチラシを配られて楽しそう、と興味を持ったから
- ・年の離れた兄弟などがいないため、自分が子どもと接することができるか不安だったから。
- ・もともと子どもが好きで、小さいお子様と関われる機会を探していた時に大学のボランティア情報でこの事業を発見し、実際に自分が体験してみることで少しでも子育ての大変さや厳しさを痛感出来るのではないかと思ったから。
- ・子どもたちと関わる機会が普段無いので、この機会に関わりたいたいと思い応募させて頂きました。
- ・学校でチラシをいただき、このようなご家庭訪問する機会は滅多にないのでぜひとも参加してみようと思った。
- ・児童福祉の職に就きたいと思っており、親子と触れ合う良い体験ができると考えたから。
- ・授業でこの取り組みについて知り、子どもと関わり、親御さんのお話を聞いてみたいと思ったのがきっかけです。

・先生からこの事業について教えていただきました。子育て支援センターや保育所などで親子と接する機会はあっても実際にご家庭を訪問し親子とかかわる経験はなかなかできないため、この経験が今後親子とかかわる際に役立つのではないかと思います、参加しました。

・私は保育士、幼稚園教諭、特別支援教諭を目指して日々勉強しています。そこで、実際子育てをされている方の大変さや育児をする中での楽しさなどをお話を聞きたいと思い、この事業に参加しました。

・お子さんとの関わり方で工夫されていること、子育てをするにあたって、夫婦で決めていること、どんな育児支援サービスを利用されているかなどをお聞きしたいと思ったからです。

・将来子どもに関わる仕事につきたいと考えているため、一回生のうちから子どもと触れ合う機会が欲しいと思ったから。また将来母親になりたいと考えているため。

・今のうちから子育てをしている方の生の声を聞きたいと思ったから。

・ゼミの先生に勧められて、間近で親子の関わりが見ることができると、興味を持ち参加しようと思った

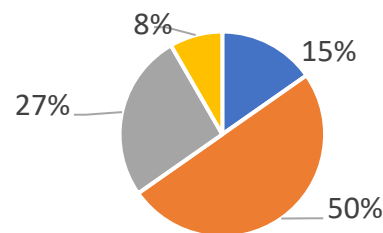
・子育てをしている家庭を実際に見てみたかったから。(どんな風に家具を配置しているか、子どもを見ながらどのように家事をこなしているのか、子どもの反応に対してお母さんがどんな声かけをしているか等) 子どもと遊んでみたかったから。

・ホームページを見た時に、参加されていた学生がとても楽しそうだったので、私も子ども達と近くで触れ合い、楽しみたいと思いました。

■あなたの普段の行動や意識についておたずねします。

問 9 :あなたは、普段、3歳以下の子どもと接する機会がどの程度ありますか？(SA)

	n	%
1.接する機会がまったくない	11	15%
2. 何度か接したことがあるが、 普段はあまりない	36	50%
3.接する機会は時々ある	19	27%
4.接する機会がよくある	6	8%

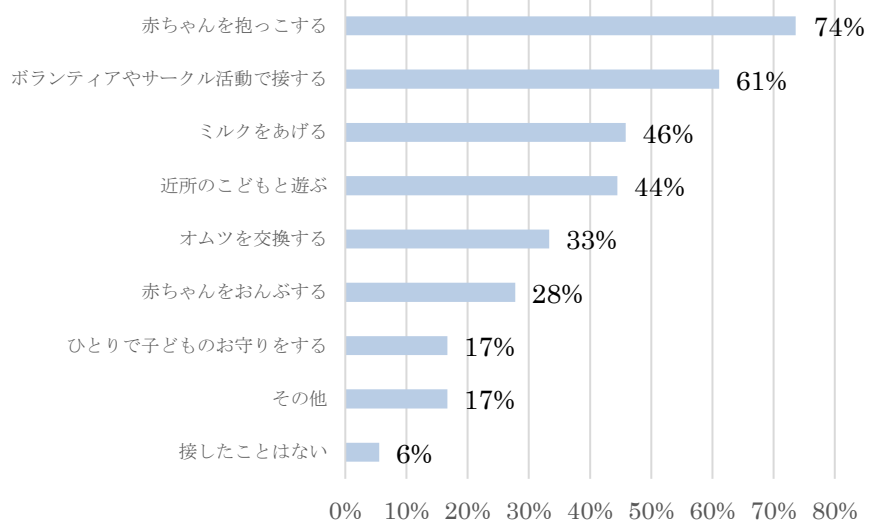


- 1.接する機会がまったくない
- 2.何度か接したことがあるが、 普段はあまりない
- 3.接する機会は時々ある
- 4.接する機会がよくある

問 10 :どんな接し方を体験したことがありますか？

あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

	n	%
赤ちゃんを抱っこする	53	74%
ボランティアやサークル活動で接する	44	61%
ミルクをあげる	33	46%
近所のこどもと遊ぶ	32	44%
オムツを交換する	24	33%
赤ちゃんをおんぶする	20	28%
その他	12	17%
ひとりで子どものお守りをする	12	17%
接したことはない	4	6%

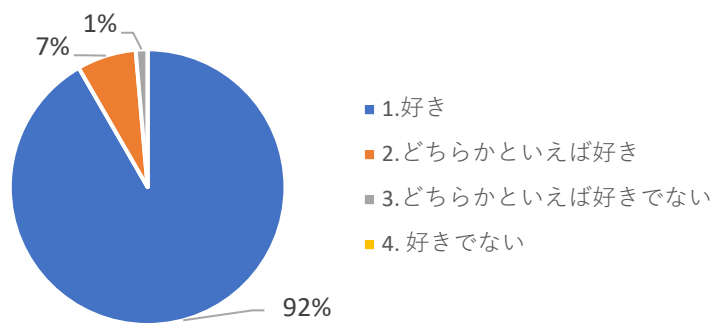


その他の回答：保育実習、アルバイト、海外でのベビーシッターなど

■今回の事業に【参加する以前】の、あなたの意識についておたずねします。

問 11 :あなたは、一般的に「子ども」が好きなほうでしたか？(SA)

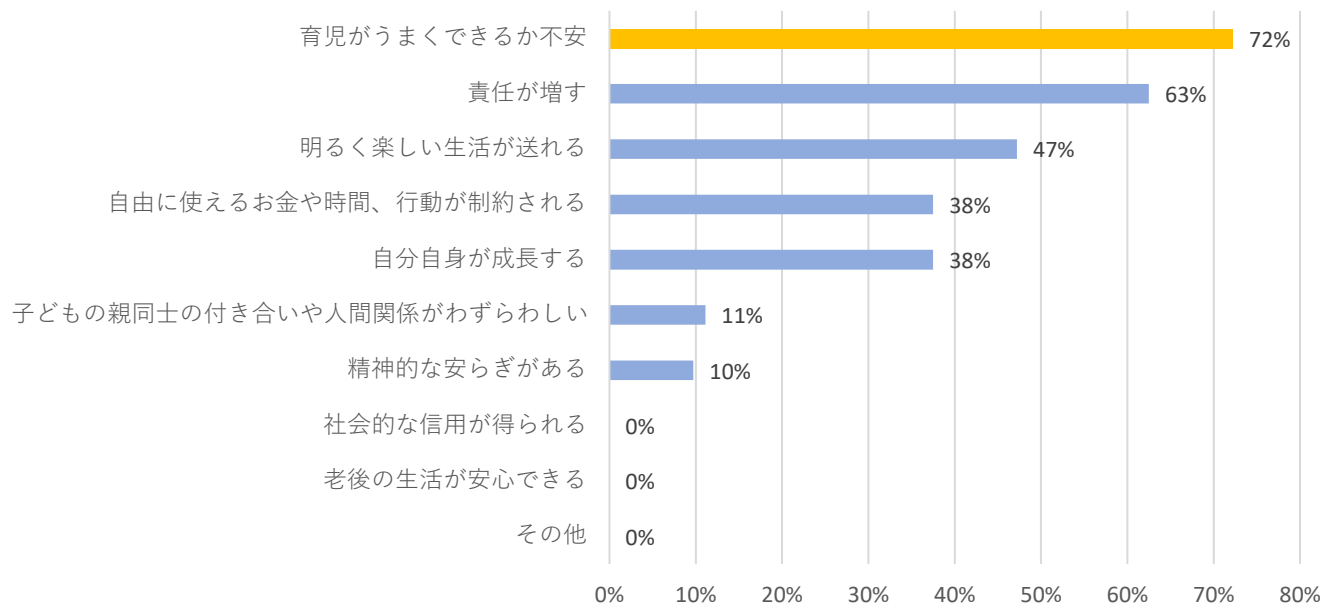
	n	%
1.好き	66	92%
2.どちらかといえば好き	5	7%
3.どちらかといえば好きでない	1	1%
4.好きでない	0	0%



問 12 :今回の体験以前に、「子育て」について、あなたはどのようなイメージを持っていましたか？

あてはまるものを【3 つまで】選んでください。(MA)

	n	%
育児がうまくできるか不安	52	72%
責任が増す	45	63%
明るく楽しい生活が送れる	34	47%
自分自身が成長する	27	38%
自由に使えるお金や時間、行動が制約される	27	38%
子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	8	11%
精神的な安らぎがある	7	10%
老後の生活が安心できる	0	0%
社会的な信用が得られる	0	0%
その他	0	0%



■家庭を訪問したときのことについておたずねします

問 13: 訪問先では、どのようなことをしましたか？できるだけ具体的に教えてください。

※マークは、2 回目以降の訪問の回答

1	持っていったおもちゃや、もともとご家庭にあったおもちゃを使って遊びました。ボタンを押したり、紐を引っ張ったりするおもちゃで、指先を使って遊びました。また、お母さんがしまじろうのビデオをつけてくれ、ビデオの中で親子で音楽に合わせて遊ぶものがあったので、それに合わせて一緒に遊んだりしました。帰る前に、お子さんの食事の時間だったので、そのお手伝いをしました。
2	簡単に挨拶をしてから、プレゼントのおもちゃを渡して、遊びを見守ったり、しまじろうの動画を見たり、絵本を見たりした。11:30 頃から食事の補助をして、眠くなってきたようだったのでお暇した。
3	持参したおもちゃを用いて遊びました。カプラを箱から取り出して「どうぞ」とプレゼントしあったり、箱から全部出したりしました。また、大人がカプラをドミノのように並べたり、高く積み上げたりして、子どもはそれを倒すのを楽しんでいました。その後、子どもが眠たくなり、寝室でごろごろして遊びました。その時に 1 人で眠ることはなかったのですが、お母さんにだっこしてもらおうとすぐに寝てしまいました。
4※	初めにもっていったおもちゃで遊びました。カプラをもって行って、重ねたりして遊びました。お子さんは倒すことに面白さを見出したようで、お母さんや私たちが積み上げたのを楽しそうに倒して遊んでいました。そのあと、もともと家にあったおもちゃで遊んだり、音のなる絵本で遊んだり、布団のところでゴロゴロしながら遊んだりしました。また、一緒におやつを食べる時間も設けていただき、横でおやつを食べました。
5	訪問に行くと、お母さんとお子さんが出迎えてくれて、早速挨拶をして、おもちゃを渡しました。最初は人見知り気味で、いつもより言葉が少ないようでしたが、それでも最初から一緒に遊べたし、時間が経つに連れてどんどん言葉も出てきたようでした。初めは持っていったおもちゃで遊び、その後お子さんのお気に入りのおもちゃを持ってきてくれて、一緒に遊びました。普段も一人で遊ぶことも多らしく、お母さんが家事している間も、私たち学生と楽しく遊び続けることができました。
6※	お母さんとお子様で玄関まで出迎えてくれ、軽く挨拶をしてお邪魔しました。すぐに持ってきたおもちゃを渡して、しばらくそのおもちゃで遊んでから、他のおもちゃで遊んだりしました。
7※	訪問すると、お母さんが出迎えてくださり、赤ちゃんのいる部屋に行って挨拶をして持参したおもちゃを渡しました。緊張はしているようでしたが、まだ人見知りや場所見知りは無いようで、お母さんが家事をしている間も気にせず遊んでくれました。11 時ごろにいつもお昼寝しているらしく、遊んでいる途中で眠くなってしまったので、その間はお母さんと私たちが子育ての話や出産時のお話を聞かせてもらいました。
8※	お母さんと子どもさんが玄関で出迎えてくれ、お家にお邪魔して、おもちゃをお渡ししました。その後、プレゼントしたおもちゃで遊んだり、絵本を少し読んで見たり、他の遊びもしながらお母さんに子育てのお話を聞いていました。途中で、子どもさんが少し眠くなってしまい、10 分ほどでしたが、お昼寝の見守りもしました。
9※	まず、もともとご家庭にあったおもちゃを使って遊びました。それから持参したおもちゃで遊びました。家に戻り、おままごとのおもちゃで遊んでから、お母さんは昼食の準備に取り掛かりました。私たちと子どもだけになると、子どもは母親がいないことに気付き、泣き始めてしまいました。昼食を食べる際、少し子どもに食べさせるということを体験させてもらいました。人見知りをして子どもの機嫌が悪くなってしまったので、気分転換に散歩に行きました。ベビーカーを押させてもらいましたが、雨が降り始めたためすぐに家に戻りました。
10※	はじめに、元々おうちにあったお母さんがつくったおもちゃで遊んだ後におもちゃをプレゼントして、そのプレゼントのおもちゃで遊びました。そのあと、少しだけベビーカーに乗ってお散歩に行って、帰ってきてからは部屋を変えて電子ピアノで遊びました。そのあと、お昼ご飯を食べるお手伝いもさせて頂きました。
11	事前に相談して購入したおもちゃ(おままごとセットと絵本)をメインと一緒に遊んだり、訪問させていただいたご家庭のおもちゃも利用して楽しみました。私たちがお家を後にしようとする直前には、上の男の子と、じゃれあいをして楽しみました。
12	お兄ちゃんと、持参したおままごとをしたり、お兄ちゃんの好きなプラレールやトミカと一緒に遊んだりしました。とても乗り物に詳しくて、乗り物の名前を図鑑やトミカを見ながら教えてくれました！また、お母様から子育てについていろいろとお話を聞かせていただきました。

13	食事の補助をしたり、遊んだり、あとは保護者の方に質問を沢山しました。
14	最初はお昼時に行ったので、ご飯を食べる姿を補助したり、6歳のお兄ちゃんには学校でなにをしたのか聞いたりしました。(ちなみに学校では手作りおもちゃを作っていたそうです。)そこからは私たちが持っていったおもちゃでしばらく遊んだり、お母さんが暇そうにしている時には子育てのお母さんに聞きたかった質問をしたりしていました。特に兄妹の場合に、2人目の子育ての時に何が大変だったのか、不安だったのかを聞きたかったので、疑問が解決してよかったです。(訪問した家のお母さんは、上の子に我慢させてしまったことと、手が足りないからと下の子にあまり触れてあげられなかったことが答えでした。)その後、兄妹は習い事があったので、習い事の所まで送ってそのまま帰りました。
15	子どもがとても人見知りで、私たちが警戒していたので、徐々に慣れてもらうために、ゆっくり近づいたり、視線を合わせてニコツとしてみたり、優しく話しかけたり、おもちゃで気を引いたりしました。それでも慣れてくれるのには時間がかかったけれど、終盤になると最初に比べて心を開いてくれたので嬉しかったです。また、保護者の方から育児についての話(子どもに癒される瞬間、子どもの後追いの大変さ、寝かしつける大変さ)など沢山話を聞いてよかったです。
16	持っていったおもちゃやおもちゃの箱、包装などで遊びました。また絵本を一緒によみました活発に遊んでる時の動画を見せてもらったり、TT兄弟の真似をしてくれました。保護者の方が、子どものオムツを替えているところを見せてもらったりしました。
17	お子さんと絵本を見たり、パズルをやって一緒に遊んだ。
18	まずはソファに置いてあるぬいぐるみで一緒に遊びました。そのあとは一緒に図鑑を読んだり、シールやカレンダーを使って遊びました。
19	自分たちで買ったおもちゃを使って遊んだ。その後違うおもちゃも出してもらって色々なおもちゃも組み合わせて遊んだ。子ども達は、お母さんの背中を登って降りるなどして遊んでいた。
20	持参したおもちゃで一緒に遊んだり、家にあるおもちゃで遊んだりした。また一緒にプリンを食べた。
21	子どもが、一つずつ、おもちゃの紹介をしてくれました。そこから少しずつ距離が詰まって行った感じがします。レゴで沢山遊びました。
22	ご家庭の普通の遊びを紹介していただいた後、持参した飛行機のレゴのおもちゃで遊びました。
23	持って行ったおもちゃで一緒に遊んだ後、夕食を一緒に頂きました。その際に出産や子育て、赤ちゃん先生の経験の話などをして頂きました。
24	買って来たおもちゃで遊びました。夜ご飯を一緒にたべながら、リアルな話を聞いた後に、また遊びました。
25	まず購入していったブロックとパズルを使いながら一緒に遊びました。パズルは少し難しかったかなとも思いましたが、キャラクターの名前をいっぱい言うてくれてよかったです。ブロックでは紙に書いてあるものをつくったり、子どもが自分でかながえて作ったりしました。ご自宅のおもちゃで一緒に遊んだりもしました。保護者の方から出産・育児について詳しくお話を聞かせていただき有意義な時間を過ごしました。
26	私たちが持ってきたおもちゃで遊んだり、お兄ちゃんはずごろくやLEGOで遊んでいました。妹ちゃんはお兄ちゃんの遊んでいるものに興味を持って一緒に遊んだり大きいおもちゃで遊んでいました。
27	プレゼントしたおもちゃやゲームで遊んだり、晩御飯をご馳走になりました。また、お母さんお父さんから子育ての大変さや実際の一日のスケジュールを伺いました。
28	お子様2人と、プレゼントしたおもちゃ(サッカー盤)やテレビゲーム・すごろくをしたり、家族とおやつやご飯を食べたり、出産や子育てのアドバイス(与えるべき食べ物・自分が食べるべき食べ物や授乳、フリースタイルの出産、逆子など)や人生についてのお話を聞いたりしました。
29※	おままごとのおもちゃで遊んだり、マーブリングをしたり粘土で遊びました。いないいないばあ!のファミリーコンサートをテレビで鑑賞したり、お母様から子育てや息抜きの仕方について聞きました。
30※	主に、持っていったおもちゃで遊んだり、子どもの食事の見学をしました。
31※	10:30に訪問して、お家の中を色々とお見せしていただいてから、11:30頃まで遊んでいました。それから、眠そうだったのでお子さんは寝かせて、その間にお母さんと二人でお昼ご飯を食べました。お子さんが起きてから食事補助をして、その後14時頃まで遊んでいました。

32	0歳児でも持ちやすいクレヨン、積み木、自作のおもちゃであそびました。また子どもにご飯をあげたり、服を着がえさせたり、オムツの履き替えを実際に体験させていただきました。途中で、子どもが寝てしまったのでお母さんに子どもについての疑問点などを、質問をしていました。
33	持参したおもちゃで音を鳴らしたり絵を書いたりして遊んだり、お昼ご飯を食べた時に子どもの服が汚れてしまったので着替えをしたり、帰る前に子どもが本棚から持ってきてくれた絵本を読んであげたりしました。また、実際に育児をしているお母さんの話も聞くことができました。お昼ご飯と一緒に食べた時には、子どもにご飯を食べさせるという貴重な経験をさせていただきました。
34	赤ちゃんをあやしたり、一緒にボールを使ってごっこ遊びなどをしました。
35	おもちゃの中にボールがあったので、ボールをお菓子に見立てたりして遊んだり、本と一緒に見て読んだり、保護者の方と保育園や幼稚園や子どもの成長の話、6ヶ月の子どもを抱っこしたりしました。
36	購入した玩具で女の子と塗り絵をして楽しんだ。男の子とも購入した玩具と子どもが持っている玩具で遊んだ。また、男の子に購入したパズルで女の子と4人で遊んだ。帰る前、男の子が逆立ちを見せてくれた。子ども2人の逆立ちを手伝ったりした。
37	プレゼントしたおもちゃで遊びました。7歳の長女とぬり絵を一緒にしました。好きなキャラクターのことや好きな遊びをたくさん教えてくれました。3歳の長男は恐竜や昆虫などの本やおもちゃを持ってきてくれて、たくさん教えてくれました。リズムにのってピアノを弾いて遊んだりしました。お母様から梨とキウイを頂き、みんなで食べました。後半は、恐竜のパズルをしました。3歳の男の子が最初上手いかわなくて困っているとき、7歳のお姉ちゃんが端っから探すと出来るよと優しく声をかけていた姿があり楽しく完成させることができました。また、お母様から子育てや子どもに対する想いなどのお話を聞きました。色々な思いがあって支えがあって今の家族の形があることを感じました。最後は体を動かした遊びをしました。逆立ちや一回転逆上がりなどをしました。
38	子どもが0歳だったので、あまり会話などは出来ませんでしたが、抱っこなど触れ合うことができました。訪問にあたってプレゼントとして買っていったおもちゃに興味を示してくれたので、それでたくさん遊びました。母親の方が、子育てはどんなものかや、子どもを育てる時に注意していること、自分の子どもってすごく可愛いということをとたくさんお話していただきました。たくさんのお話を聞いて、とても良かったです。
39	子どもにご飯をあげたり、子育てや結婚についての話を聞いたり、子どもと遊んだりしました。
40	購入したおもちゃや、元々お家にあったおもちゃを使って一緒に遊びました。プラレールの列車を動かしながらはしゃぎ合ったり、おもちゃの電話を使って電話ごっこをしたり、アンパンマンのキャラクターについて言い合いっこしたりしました。また公園では滑り台を何度も滑ったり、落ち葉を踏んで音を楽しんだりして外での遊びも存分に楽しみました！
41	普段よく遊んでいるというプラレールや、プレゼントしたトーマスのおもちゃで遊びました。また、一緒に昼食を食べました。
42	保護者のお宅までは車で迎えに来ていただけということでしたが、お子様がちょうど眠ってしまったようで、歩いて訪問することになりました。お兄ちゃんは保育園に行っていたので0歳の女の子だけお家にいました。お宅に着くとまず鞆を女の子の見えない所に置きました。(何にでも興味を持ってしまうため)。次に離乳食をスプーンであげました。その際に離乳食の作り方や、離乳食への移行の仕方についてのお話を聞きました。持ってきたおもちゃを開封して一緒に遊び、お子様がつかまり歩きする様子を見たりオムツ替えの様子やあやし方を見せて頂きました。
43	お子様とおもちゃで遊んだり、子育てについて様々なことをお伺いした。
44	持参したおもちゃの粘土を使い、お弁当を作りました。5歳の子どもは、粘土がおにぎりになったり、卵焼きになったり、とても美味しそうなお弁当が出来上がりました。2歳の子どもは、四角のかたまりの粘土がおにぎりに見えて、おにぎり屋さんごっこが始まったり、アイスクリームを作ってあげると、アイスクリーム屋さんごっこが始まったりして遊びました。ピアノの演奏を聞かせてもらったり、大好きなパブリカの歌をいっしょに歌って踊ったりしました。お布団も大好きでお布団の山に登って遊んだり、ひたすら走り回って遊んだりしました。
45	持参したお弁当が作れる粘土セットを使って子どもたちと遊びました。5歳の女の子はお弁当のおかずを道具や型を使いながら作っていました。2歳の女の子は粘土を丸めたり、色を混ぜたりして、好きな様に粘土遊びを楽しんでいました。
46	持参したおもちゃで遊んだり、ご自宅にあった絵本を読み聞かせしたり、赤ちゃんを抱っこさせて頂いたりしました。また、お子さんが寝ている間はご両親のお話を聞かせて頂きました。

47	訪問先のお子様と私たちが買って来たおもちゃと絵本を使用して機嫌がよくなるように遊びました。また、すでにご自宅にあった絵本を使って読み聞かせなどをしました。お母様とお父様に育児についての大変なところなどを伺いました。
48	プレゼントしたおもちゃで一緒に遊んだ。また、ミニーちゃんのお部屋（テント）の中で、一緒に遊んだ。お母様と子どもたちで作ってくれたチーズケーキをおやつにいただいたり、お母様と子ども達と一緒にシールを貼って遊んだ。
49	子どもにおもちゃをプレゼントして一緒におもちゃで遊ぶ。前日に作ったケーキと一緒に食べる。シールを貼って遊ぶ。
50	2歳のお姉ちゃんが持ってきてくれるおもちゃを使って遊んだ。一緒におやつを食べながら母親と子育てや職場復帰のことについて話をした。プレゼントを開けてもらって、一緒に遊んだ。
51	2歳の女の子と一緒に絵合わせやままごと、絵本などご家庭にあった玩具と一緒に遊びました。ままごとでは人形を寝かしつけたり、病院に連れていったりなどお世話を楽しんでいました。お母さん手作りの玩具もお気に入り、パン屋さんになりきって布で作られたパンを売るなどしていました。遊びの途中では0歳の妹と触れあって遊ぶ場面もみられ、姉妹の仲が良いんだと感じました。その後は私達がプレゼントした玩具や、室内用ジャングルジム、パズルなどでも遊びました。
52	まず、お互いに自己紹介をしました。4歳の男の子が、持参したおもちゃに興味を示してくれたため、そのおもちゃで遊びました。また、自分のお気に入りのおもちゃを紹介してくれ、それを使って一緒に遊びました。昼寝をしていた2歳の男の子が途中で起きて来たため、ボール遊びをしたり、おもちゃで遊びました。また、5ヶ月の女の子も、音の鳴るおもちゃに興味を示してくれ、抱っこもさせて頂きました。
53	4歳の男の子とは、積み木で家を作ったり、絵本と一緒に読んだり、プラレールで電車を走らせたりして遊びました。2歳の男の子とも同様に遊びました。また、ゼリーやスイートポテトをおやつに出していただいて、子どもたちと一緒に幼稚園での芋掘りの話や好きな遊びの話などをしながら楽しくいただきました。5ヶ月の女の子は、持参した音の鳴るおもちゃを鳴らすととても喜んでいました。抱っこもさせてもらい、この時期の赤ちゃんの重さを実感することができました。
54	離乳食をあげたり、オムツを変えたりする体験をさせていただきました。また、選んだおもちゃやプラスチックの積み木を使って、一緒に遊びました。また、子どもさんのお母さんの育児の方法や、子育てをする上での大変なことや工夫していることも優しく教えて下さいました。お父さんもおられて、育児を積極的に手伝っていました。普段の育児をする生活空間を見せて頂き、実際にその空間で子どもさんと遊ぶということも貴重な体験ができました。
55	まずおもちゃをプレゼントし、どのような経緯でそのおもちゃを選んだかを説明しました。次におもちゃや絵本を使ってお子さんが私達に慣れてくれるように一緒に遊びました。オムツの替え方やご飯やミルクのあげ方なども教えてもらい、実際にオムツを替えたりご飯やミルクをあげる体験をしましたそしてお子さんがお昼寝をしたのでその間で保護者であるお母さんから子育ての大変さややりがい、保育園をどのように選んだかなど色々な質問に答えて頂きました。
56※	お子さんと、パズル付きの絵本や積み木などを使って遊びました。
57※	事前に用意してプレゼントしたおもちゃでたくさん遊びました。乗り物のおもちゃが好きそうだったので、乗り物のパズルを買っていったら何回も夢中で遊んでいました。
58※	まず、ご両親から、保育園の入園手続きや保育園毎の特色などの、具体的なお説明をしていただきました。また、妊娠中・出産後に参加されている育児に関するプログラムや、離乳食の内容などの説明もいただきました。その後、お子様が離乳食を食べる様子も見学させていただきました。お子様の昼寝の後に、一緒に遊ばせていただきました。
59※	最初にご両親と子育てのことや妊娠期間のこと、どのような取り組みが市で行われているのかなど、現実的なお話をたくさんさせていただきました。特に、妊娠期間中や子育て期間に届くメールの存在を初めて知り、その良さも理解することができました。また、離乳食を子どもさんが食べる様子を見させてもらったり、持参したおもちゃで一緒に遊んだりしました。
60	購入したおもちゃをプレゼントし、それにすごく興味を持ってきて、恐竜のDVDを観ながら、一緒になって戦いごっこをし、アンパンマンや恐竜の絵本も使い、対戦して遊びました。そして11時過ぎから公園へ行きボール遊びをし、その後は散歩に行き、育児の話を伺いながら帰宅して、お昼ご飯と一緒に食べました。
61	訪問先の家庭の保護者に、普段の子育てについて話を聞いたり子どもと一緒に遊んだり、一緒にご飯を食べたり散歩をしたりしました。
62※	主に上のお兄ちゃんお姉ちゃんとカルタをしたり、トランプをしたりしました。それからおもちゃをお渡しして、そのおもちゃでしばらく子どもたちと遊びました。それと同時に子育てについて色々とお母様にお聞きしました。

63※	お兄ちゃんがいすきなカルタをしたり、持参したおもちゃを使って遊んだりしました。
64	おもちゃをプレゼントしてそれで遊びながらも、子どもが怪我をしないように注意しながら過ごしていました。家庭にあるおもちゃも使って遊んだり、保護者の方とも話しながら、いろんな話を聞くことができました。朝ごはんは子どもが食べるのを見せてもらい、お昼ご飯は一緒に食べました。
65	プレゼントしたおもちゃで遊び、一緒に絵本を読んだらご飯を食べたり、ぐずったときのお母さんの対応などを見せていただきました。
66	プレゼントしたおもちゃで一緒に遊んだり、おやつをいただいたり、テレビを一緒に見たりしました。
67	室内でおもちゃで遊んだり、おやつを一緒に食べたりテレビを観ました。
68	まずは、プレゼントで遊びました。2歳の子には絵本の読み聞かせをし、1歳の子とはシロフォン（おもちゃの木琴）で遊びました。その後、2歳の子とは、クリスマスプレゼントのアンパンマンのコロコロパン工場で遊びました。11時頃におやつをみんなで食べた後、サンドイッチを作るおもちゃでお店屋さんごっこをしました。また、シロフォンやおもちゃのピアノで音を出して、大きな栗の木の下でを踊ったりパプリカを踊ったりしました。その後、昼食を一緒に食べさせて頂き、ご夫婦とお話しました。昼食後には写真を撮らせて頂いて、最後に少し遊び、お別れしました。
69	プレゼントしたおもちゃや前から家にあるおもちゃで一緒に遊んだり、プレゼントした絵本で読み聞かせを行ったりした。2歳の女の子とは、サンドイッチ屋さんごっこ、ヒーローごっこ、一緒に歌やダンスをした。1歳の女の子とは、風船、手押し車、人形が転がるおもちゃで遊んだ。お家の方のご厚意で昼食を用意していただき、テーブルを囲んで一緒に食べた。お母さんに離乳食の作り方、オムツについて、子どもの好きな事を教えてもらった。
70	しばらく子どもと遊び、プレゼントを開けて、そのおもちゃで遊んで、一緒におやつをいただき、そのあとも家の中で遊んだ。
71	プレゼントした玩具や、家庭の中にある玩具を使って、子どもと遊んだり会話を交わしたりしました。また、おやつの時間に、一緒に食べました。
72	家事をしている間におもちゃで遊んだり、触れ合ったりしていた。
73	ピアノ、ブロック、ままごとなどで遊びました。
74	まず、子どもたちと私たちがお互いに自己紹介をしました。その後、持ってきたおもちゃを開けてもらい、4人でそのおもちゃで遊びました。3歳の女の子とは、時々おもちゃを隠して宝探しのようなことをしていましたが、基本的にはずっとプレゼントしたおもちゃで遊びました。1歳の男の子とは、最初はプレゼントしたおもちゃで、途中からパペット、ボール、風船、お絵描きなど、色々なもので一緒に遊びました。
75	私は主に3歳の女の子と、私たち学生が持参したおもちゃを使って遊びました。レールを8の字で繋げるのは子どもだけだと難しいと感じたので、どうやって繋げるのかを見せながら、一緒に繋げていきました。遊んでいる時に、「この電車はどこいきますか？」「わたしも乗りたいな」といったように私が誰かを演じて、会話をしながら遊びました。会話も同じことを繰り返して行ったり、たまに擬音語?擬態語を使ったりして子どもが遊んでて楽しめるようなことをしました。
76	ベビーカーを押して買い物へ行ったり、公園で砂場や滑り台などで遊びました。ご飯を一緒に食べ、ご自宅で遊ぶ体験もしました。
77	家の中で遊んだり、外に行って買い物の様子や公園で遊んだりしました。外に出かけた際ベビーカーも実際に押す経験をしました。お昼ご飯は、子どもが自ら食べていたので援助するという事はなかったです。
78	持参したおもちゃで遊んだり、子どものお着替えとおむつ替え、外出の準備をさせてもらいました。歩いて公園にお出かけの後、昼食を一緒に食べました。
79	訪問してすぐは人見知りで私たちを受け入れてくれなかったのですが、お母さんに家の中で行っている安全対策について見せていただきました。1歳後半のお子さんが引き出しを開けてしまうことや、その開けた引き出しに乗って上のものを触ること、机の上も届くことなど、日々成長している話を聞きました。その後プレゼントのおもちゃで一緒に遊んだあと、おむつ交換、着替え、外出用意を済ませて公園へ行きました。普段はベビーカーが多いのですが今回はみんな徒歩で公園まで行きました。30分ほど遊んだあと家に帰り、皆で一緒にご飯を食べました。ご飯を食べながら子育てについてや世間話をして楽しみました。その後少し遊んでから写真を撮り、お子さんが眠そうになったくらいでお別れをしました。

80	まず、着替えを体験させて頂き公園に遊びに出かけて遊具の階段から落ちないように支えながら上ったり、滑り台を一緒に滑ったりしました。階段を上り下りする時に危なくないように手を繋ぎ、砂に絵を描くなどして遊びました。また、おむつを替えて持参したおもちゃで遊び、ご飯を一緒に食べました。
81	まず、着替えをさせていただきました。イヤイヤ期の子もだったので、服を着替えるということに対してもいやいやとなかなかさせてくれませんでした。服を着せるという体験をしました。また、普段ではあまりすることがない髪の毛をくくったり、外で一緒に遊んだり、おむつを替えたりいろんなことをすることができました。
82	魚釣りのおもちゃ、音が鳴る絵本、プリキュアの折り紙を渡して遊びました。家にあった積み木、ブランコやジャングルジム、ピアノであそんで、絵本の読み聞かせをしたりおままごとをしました。おやつを一緒に食べたりもしました。
83	お互いに自己紹介をしてからおもちゃをプレゼントし、一緒に遊びました。持って行ったおもちゃを一通り(折り紙以外)遊んだ後、お宅の遊び部屋に案内していただき、滑り台やブランコ、トランポリンで遊んでいるのを見守りながら沢山お話をしました。また、アイス屋さん、パズル、ピアノ、ブロック、絵本など、お宅にあるおもちゃでも遊びました。
84	家の中で電車やおままごとセットで遊んだり、公園に散歩にいったりしました。またオムツ替えや、離乳食を食べさせる体験をさせて頂きました。
85	最初は、おうちのおもちゃやプレゼントしたおもちゃと一緒に遊びました。散歩に行く前に、オムツ替えをさせて頂きました。抱っこひもを付けさせてもらって、みんなで散歩に行つて公園で遊びました。公園では、地面に線路を書いて電車ごっこをしたり、落ち葉や枝でカレー作りをしました。その後家に帰って、お昼ご飯を食べました。離乳食を食べさせる体験をさせて頂きました。
86	玩具と一緒に遊んだり、公園で遊具やボール遊び、ブランコなどを楽しんだ。また、遊具で遊ぶ中で怪我しないように安全に配慮しながら楽しく遊ぶことを心がけました。また、おむつ交換もさせて頂きとても貴重な経験になりました。
87	プレゼントしたおもちゃでお料理ごっこ遊びをし、おむつをかえさせて頂き、外に出るため服を着させたり、靴下を履かせたりして、その後一緒に近くの公園まで遊びにいった。ボール遊びや遊具遊びを一緒にするとともに見守り、家に帰っておむつ交換、昼食をいっしょにし、歯磨きを見学させて頂いた。

問 1 4 : 訪問先には何のおもちゃを持参しましたか。どのようなことを考えて選びましたか？

また、子どもの反応はどうでしたか？

※マークは、2回目以降の訪問の回答

1	指先を使う知育に適したおもちゃをもっていきました。音が鳴るおもちゃが好き、という話をお伺いしていたので、紐を引っ張ると音が鳴るようなおもちゃにしました。また、リモコンのボタンを押して遊んだりしている、という話もあったので、ボタンがついているものを選びました。
2	手先を動かすための仕掛けがたくさんついたおもちゃを持参した。事前に、手先を動かすことが好きだと聞いていたので、それを参考にした。すごく気に入ってくれて、帰ってからもずっとおもちゃを使って遊んでいると聞いた。
3	お母さんから、引き出しなどからものを出して遊ぶことが好きだと伺っていたので、箱に入っていて、出したり入れたりできるおもちゃを探していました。その中でカプラを選んだ理由は、いろいろな使い方ができ、成長しても使い次第で長く使うことができるだろうと思い、選びました。子どもの反応は、最初どうやって遊べいいかわからない様子でしたが、次第にいろいろな遊びを大人と一緒にするようになりました。
4※	カプラという積み木のようなものを持参しました。選んだ理由として、お母さんの話で箱の中からのものを出したりすることが気に入っているという話もあったので、箱の中にたくさん入っているものであったことがあります。また、これから先も使い続けられるのも決め手の一つです。お子さんの反応は、今はできたものを倒すことに面白さを見出しているように感じました。
5	座って遊ぶことができ、なおかつ生活の中で親しみのあるもので、両手を使ったり、音が鳴ったりする、「いたずら1歳やりたい放題セレクト」というおもちゃを選びました。お子さんは、ドアホンの音で実際に玄関を見たり、ドアを開けると出てくる猫のしっぽを引っ張ったりと、玄関のコーナーを特に楽しんでいて、鍵を回すという動作はまだ難しそうでしたが、長く楽しめそうなおもちゃのようで、良かったです。

6※	リモコンを押したり、手先を使うことが好きだと聞いていたので、そういった手先を使うことができるおもちゃを選んだ。
7※	音のなるおもちゃを持っていきました。お母さんから事前に、両手を使って積み木を鳴らす遊びが好きだということを伺っていたので、音が鳴る、少し違うジャンルのおもちゃを選びました。たくさんボタンがあって、それぞれ、違う音楽が流れたり、鳴き声が聞けたりして、お子さんは、音が鳴ることを楽しんでいるようでした。もう少し大きくなると、自分が聞きたい音楽のなるボタンを押せるようになるのかなと思いました。
8※	事前に伺ったお話で、音の鳴るものに反応したり、手先を使って遊ぶことや、絵本を読むことが好きだということをお聞きしたので、絵本と、手先を使って遊ぶことができ、音も鳴るようなおもちゃを選びました。
9※	お兄ちゃんの電車に興味を持っていて、また音の出るものが好きと伺っていたので、車で、走らせるとオルゴールがなる車を持参しました。音が鳴るということに興味を持って遊んでくれていました。
10※	動かすとオルゴールの音のなるおもちゃを持っていきました。お兄ちゃんの影響で車のおもちゃで遊ぶことが多いのを聞いていたので、これを選びました。前に進めても後ろに進めても音が正しく鳴るので、年齢の低い子どもでも遊びやすいなと思いました。
11	メールで訪問先の保護者の方と相談し、今、興味のあるもの、今後、兄弟で遊べるものを条件とし、安全性も考慮しながらプラスチック製のおままごとセットと絵本を持っていきました。お子さんは大変喜んでくれていました。
12	妹ちゃんにも将来使ってもらえるものを！と思い、おままごとセットと本をプレゼントしました。おままごとセットの収納ボックスは車輪付きだったので、乗り物好きなお兄ちゃんはその収納ボックスでも遊んでいました。
13	何に“今”興味を持っていて、何が今流行っていて、何を持っていないか。何を今ほしいのかなどを訪問先の保護者に何回も確認をしました。袋から玩具を出した時の子どもたちの、「わあー!!」といった顔で、「これ知っている!」「これどうやって遊ぶの?」など次から次へと聞いてきて、一緒に遊んでいると、沢山悩んで沢山保護者の方に聞いてよかった…！と思いました
14	《LaQ》と《つなげてコロコロ》を持っていきました。LaQはお兄ちゃんが通っている児童館にもあるらしく、お兄ちゃんがとても楽しそうにできて良かったです。ただ、もうひとつパーツを買わないといけないものだったので、最後まで完成させなくて困っていました。つなげてコロコロは、単純に上も下も関係なく遊んでいて、最後の方は兄妹で取り合いしたりして大変でした。
15	アンパンマンのドライブキー、アンパンマンのブロック、アンパンマンのミニボックス、音が鳴るうさぎのおもちゃを持参しました。子どもが人見知りだったので、最初は私たちがおもちゃで遊んでも、あまり興味を示してくれませんでした。終盤になると、少しは慣れてくれたのか、おもちゃを指さして喜んでいて、笑顔が増えてくれたので嬉しかったです。
16	アンパンマンが好きと聞いていたので、アンパンマンのおもちゃを持っていきました。どのおもちゃが気に入ったのか表情を見ながら遊びました。車の鍵を触るのが好きらしくて、アンパンマンの車の鍵のおもちゃを渡したら興味を持ってくれました。音が鳴るおもちゃも関心があったらしく、うさぎの形をした音のなるおもちゃを渡すと笑顔になってくれました。
17	絵本 2 冊。どんな物がいいか悩んだため、保護者の方に相談したところ、ヨシタケシンスケさんの絵本が大好きとのことでその中から選んで持っていきました。
18	お子さまがヨシタケシンスケさんの絵本が好きと伺ったので、そのシリーズの持っていないものをお聞きし、持って行きました。
19	アンパンマンのブロックと水遊びなどで使えるおもちゃの詰め合わせを持参しました。2 つ持って行ったら 2 つを合わせて遊んでいてそのような遊び方もあるんだなと勉強になった。やはりアンパンマンの方が気に入っていて握ったり触ったりして遊んでいて笑顔をみせてくれた。
20	アンパンマン号の同じ型の穴に入れて遊ぶ柔らかいおもちゃと、お風呂で遊べるおもちゃを持参した。アンパンマン号の方は、型を見て入れて遊ぶので、知育にもなると思ったから。お風呂で遊べるおもちゃは、この時期プールなどでも活躍すると思ったから。とても喜んでくれた。
21	その子どもがレゴが好きだったので、レゴを選びました。対象年齢に合わせて、選びました。子どもの反応は、とても楽しそうでした
22	訪問日を決めた際、おもちゃを相談しレゴがいいということでしたので、男の子が好きそうな飛行機や様々なものが作れるおもちゃにしました。当日は協力して作り、とても楽しんで作っていました。

23	ポケモンが好きだと聞いていたので、一人ではなく、一緒に遊べるものが良いなと思い、ピカチュウの手作りキーホルダーキットを選びました。
24	ポケモンが好きだと言っていたので、ピカチュウのおもちゃで、一緒に作って遊べるのがいいと思ったので、キーホルダーを作れるものにした。
25	上の子が恐竜が好きとお聞きしていたので、レゴなどとは、少し違った形の恐竜がつかれそうなブロックと、下の子はアンパンマンが好きとお聞きしていたので、アンパンマンのパズルを持参しました。子どもと一緒に楽しく遊べるようなもののがいいと考え選びました。おもちゃを渡すと、「ありがとう」ととても笑顔で喜んでくれて嬉しかったです。一緒に楽しく遊ぶことができました。
26	お兄ちゃんには組み立てて何かを作る感じの積み木と、妹ちゃんにはアンパンマンが好きだと聞いていたのでパズルを買いました。最後の最後まで遊んでくださりました。
27	好きなものがサッカーだったことや、あまり気に入らなかったことを考えてお父さんにも協力してもらいました。箱をすぐ破くくらい喜んでいました。
28	サッカー盤を持参しました。お子様が楽しめるように、自分達も楽しく遊ぶように心がけました。一緒に喜び合ったり、悔しがり合ったりして、テンションが高く、とても楽しそうに遊んでいたと思います。
29※	粘土セットとマーブリングセットを持参しました。粘土セットはお子様優しい生地で、沢山の色があるものを選んだ。遊ぶときには、お子様に何色がいいか聞いて取ってあげたり取らせて、例えばハートを作っていたら「おお！ハートだ！！」みたいに言ったり、私も作って見せたり一緒に楽しく遊ぶようにした。喋り始めた時期らしく、笑顔で「ハート！」などと言い、楽しさを表現しているようだった。
30※	粘土を持って行きました。お母さんに誘導されて早速遊んでくれました。いつもとちょっと違う種類の粘土にびっくりしてました。
31※	絵本2冊と、タワーのおもちゃ。飲み込むことがないサイズで、長く遊べそうなものを選びました。
32	積み木、クレヨン、ビー玉落とし（自作）を持参しました。積み木は、積むのが難しいらしくバラバラにして積み木同士がぶつかる音を楽しんでました。クレヨンは、持ちやすい形だったのでくいつきがよく画用紙いっぱい絵を描いてお母さんや私たちにみせてくれました。ビー玉落としは、まだ穴にビー玉を落とすのは難しいので音を楽しんでいました。
33	アンパンマンの握って描けるタイプのクレヨンと、くもの図形キューブつみきを持参しました。図形キューブは、箱から出すとキューブを手でかき回すように床に散らばらせて音を鳴らして楽しんでいました。クレヨンは青色が気に入ったようで、少し描いてはおかあさんに見せに行く姿がとても印象的でした。
34	楽しめるものと思い、英語の絵本やボールを選び持参しました。
35	カラフルボール、絵本、粘土です。絵本は英語が書かれた本ですが、保護者の方が簡単な英語を日常で使っておられたので、お子さんの好きなトーマスの英語の本を選びました。キャラクターの名前を教えてくれたり、楽しそうに読んでくれていました。
36	男の子には恐竜のパズル、恐竜の玩具、女の子にはスヌーピーの筆記用具、すみっこぐらしのぬりえを持参しました。購入したものを渡したら自分の持っているものと似てる！など子どもから声をかけてくれるようになり楽しく遊んでくれた。
37	3歳の長男にはティラノサウルスのおもちゃと恐竜のパズル、7歳の長女にすみっこぐらしのぬり絵とスヌーピーの文房具を買いました。みんなで一緒に遊べるおもちゃがいいなあと思って選びました。一緒に遊んでいくうちにこの恐竜は空を飛ぶんだよ。とかこのスヌーピー書いたことある！などコミュニケーションが増えていきました。
38	まだ小さかったので、積み木や、簡単に遊べるおもちゃを買いました。0歳なので口に入れてしまうと思うので、小さすぎないもので、カラフルなものを買いました。子どもはとても興味を示してくれて、ずっとそのおもちゃで遊んでくれました。
39	積み木と車のおもちゃを持参しました。性別や年齢によってどんなおもちゃを好むのか考えて選びました。喜んでくれましたが、しばらくすると飽きてしまいました。
40	「トーマスの10までつなげて」と「アンパンマンのぬりえ」を持参しました。男の子ということもあり、乗り物全般に興味を示してくれるのかな？と思いこのおもちゃを選びました。プレゼントしてみると凄く喜んでくれて、終始笑顔が絶えませんでした。相当気に入ってくれた様子でした！
41	おもちゃは、ご家庭からリクエストがあったので、リクエストに応じてトーマスのおもちゃと、アンパンマンの塗り絵を購入しました。楽しく遊んでくれました。

42	保護者の方から事前にメールでリクエストして頂いていた鞆の形をしたおままごとセットを持参しました。何にでも興味を持ち、口にいれるということでしたので、口にいられても安全なものを選びました。お子様は開封している間もとても興味を持ってくれていて、手に持ってくわえたり、手渡したりしてくれていました。
43	おままごとセットを持参しました。お子様は何のおもちゃかわかっておられない様子でした。
44	訪問先には粘土セット、キャラクター「ここたま」の塗り絵、レインボースプリングをそれぞれ2つずつ持参しました。粘土セットはとても気に入ってくれて、1時間ぐらい集中して遊んでくれました。「ここたま」が大好きなようではお家に向かうエレベーターの中で発見してテンションが上がってくれました。
45	粘土キットを持参しました。粘土なら年齢関係なく簡単に楽しめるのではないかと思います粘土キットにしました。渡した時すぐ興味津々で、すごく喜んでくれました。
46	音が出るおもちゃ付きの絵本と、ラッパのおもちゃを持参しました。お子さんがまだ小さく、遊べるおもちゃがとても限られているため、対象年齢をよく調べ選びました。喜んで遊んでくれました。
47	おもちゃは2種類持参しました。1つ目はお米で作られたおもちゃでラッパです。赤ちゃんが自分で吹いて遊べるようなものです。もう1つは音がる絵本です。
48	キッチンセットと音の出るおもちゃを持参した。キッチンセットのナイフで、野菜や果物を楽しそうに切っていた。下の子は、なめていたり、振り回したりしていた。
49	おままごとセットと音のなるおもちゃ。お母さんに質問すると0歳のお子さんは、音のなるおもちゃが好きで、3歳のお子さんはごっこ遊びが好きと言っていたのでそれに合うものを持参しました。2人ともとても喜んでくれました。
50	おもちゃは木のタンگرامと、磁石でくっつく木のブロックを持っていった。事前にお会いする機会があった際に、「タンگرامを与えたい」という話が聞けていたので、タンگرامを探した。初めは少し難しそうにしていたが、一緒に遊ぶ中で遊び方の見本を見せていくと楽しみ始めていた。
51	訪問先には様々な図形のピースが入った木製のタンگرامパズルと磁石が内蔵されている木製のブロックを持参しました。最初に持参する玩具は木製のものが良いと思ったことと、事前のお母さんとの会話からお子さんがどんな遊びに興味をもっているのか、親御さんはどんな玩具に興味をもっているのかを知り、この2つを選びました。2歳の女の子だけでなく0歳の妹さんも興味をもって遊んでくれたので嬉しく思いました。
52	木製コネクティングブロック、絵本（せんろはつづく）、キャラクター「うーたん」の音の鳴るおもちゃ、リンリン軽い鈴のガラガラを持参しました。上の男の子2人は、電車や組み立てるおもちゃが好きとお聞きしたので、それを参考に選びました。楽しみながら遊んでくれていました。一番下の女の子は、赤色に反応しやすいとお聞きしたため、赤色のものや音のなるものを選びました。また、口に入れても安全なおもちゃを選びました。
53	訪問先には、積み木ブロック、電車の絵本、5ヶ月の子用の音の鳴る鈴キャラクター「うーたん」の音の鳴るお人形を選びました。事前に好きなことや物を聞き、それに沿うものを選ぶようにしました。また、赤ちゃん用は舐めても大丈夫な素材であることに気をつけました。積み木で色々工作したり、音を鳴らしたりしてとても喜んでくれました。
54	木で作られた、木独自の温もりがあり、舐めても安全で赤ちゃんが握って触覚を刺激でき、転がすとカラフルに塗られた面が虹色を描く、見ている大人も楽しいおもちゃを持参しました。子どもさんとても気に入ってくれたようで、お母さんが貸してといってもなかなか離さないほどでした。嬉しそうにおもちゃを持ってフリフリしていました。
55	ズリバイができると聞いていたので振っても遊べるし、転がしても遊べるおもちゃにしました。
56※	パズル付きの絵本とつみきを持って行きました。パズル付きの絵本が気に入ってくれたようで、何度も遊んでくれました。
57※	アンパンマンのブロックと乗り物のパズルを持って行きました。1歳で、乗り物やブロックが好きと聞いていたのでそれを意識しました。子どもはとても喜んでくれて、楽しそうに遊んでいました。
58※	一つ目は、へんしんローリングボールという、音楽や動物の声を聞いたり、組み立て方によってはボールとしても使えるものを選びました。二つ目は、吸っても吹いてもぷっぷ〜笛というおもちゃを選びました。普段から、音の鳴るおもちゃを使って遊ばれているとお聞きしたため、これらのおもちゃを選びました。

59※	6ヶ月から使用できる、音がなったり、転がしたりできるものと、笛を持参しました。笛はまだ年齢的に、うまく吹けてはいませんが、なめたりして遊んでいました。また、もう一つのおもちゃは、特に気に入ってくれて、音を鳴らしたり、足で蹴ったりして楽しそうでした。
60	ティラノサウルスとトリケラトプスのフィギュアと恐竜の絵本を持って行きました。毎日、恐竜のTシャツを着るほど好きだと伺っていたので、恐竜にしました。渡した瞬間、すごく喜んでくれて、すぐに遊んでくれました。
61	恐竜のフィギュアと、恐竜の絵本を持って行きました。事前にお会いした際に、子どもが最近恐竜に興味があると聞いていたので、恐竜のおもちゃを選びました。あげたときにとっても嬉しそうにしてくれて、一緒にいる間はずっとそのおもちゃで遊んでくれました。
62※	ブロックの知育おもちゃのようなものを持参しました。兄弟の年齢がバラバラだったので、どの子どもでも遊べそうなもの、長く使えそうなものがないなと思って、ブロックにしました。
63※	ブロックを持参しました。2歳の子もいたので、対象年齢の幅が広いものを選びました。3人も楽しそうに遊んでくれていました。年齢に応じて遊び方が違って面白かったです。
64	野菜のおもちゃを木の包丁で切るものと、ノンタンの絵本です。野菜のおもちゃは同じようなプラスチックのおもちゃはあったものの、野菜を買ったり切ったりして楽しんでくれました。絵本も、めくることにも楽しさを感じながらきちんと聞いてくれました。
65	Cutting fruit というカットして遊ぶ木のおもちゃとノンタンの絵本を購入しました。プラスチックなどのおもちゃは家に沢山あると思ったのと、私が木でできたおもちゃが好きなので木のおもちゃを購入しました。まだちょっと早いかな？と思っていたけど、上手に包丁を使って遊んで気に入ってくれたのが嬉しかったです！！
66	水で描けるスイスイおえかきを持参しました。保護者の方がこんな感じのおもちゃが欲しいと写真を見せて頂いたので、それに1番近いおもちゃを選びました。
67	水で書けるお絵描きシートを持参しました。保護者の方のリクエストです。ペン先に色が付いていないのに、シートに書けることに驚いていました。
68	絵本2冊（仕掛け絵本とノンタン）、シロフォン（おもちゃの木琴）です。2人のお母さんに伺ったところ、上の子は絵本で、下の子は打楽器がよいと教えて頂いたのを参考に選びました。絵本は仕掛け絵本や、身体をこちょこちょする内容の絵本にし、親子で触れ合えるようなものを選びました。シロフォンは、釘や角があまりないこと、音が正確なことを意識し、安全に長く使えるものを選びました。絵本は文字が少し多かったので絵がメインのものにした方がよいと感じました。シロフォンは姉妹で楽しむ様子が見られました。
69	絵本二冊（みんなみんなみ一つけた、ノンタンこちょこちょこちょ）と楽器のシロフォンをプレゼントした。おもちゃは二人とも楽しめるものであるか、万が一舐めても大丈夫な素材であるかを重視した。絵本はお母さんに読んでもらい触れ合ってほしいという思いから選んだ。プレゼントすると、二人ともまずシロフォンを気に入ってくれた。1歳の子はお姉ちゃんがシロフォンで遊ぶ様子を見て真似していた。絵本は2歳の子が気に入ってくれて私たちに読んで欲しいと言ってくれた。
70	今興味持っているものをリサーチし、それに合ったおもちゃを選んだ。とても楽しそうに遊んでくれていた。
71	事前に、乗り物が好きと伺っていたので、1歳3ヶ月でも遊べるレゴの玩具を用意しました。長年遊べる物にしたかったので年齢が上がっても数字を学びながら遊べるものにしました。初めは何か分かっていなかったけれど、動かして乗り物のように遊ぶのを知ってからは、乗り物の音を口で吹きながら遊んでいました。
72	保護者の方に教えていただいたおもちゃで子どもが喜んで貰えるように選んだ。最初は興味をもって遊んでいたが途中で普段遊んでいるおもちゃで遊んでいた。
73	ピアノのおもちゃです。事前の打ち合わせでお母さんが音の鳴る玩具がほしいとおっしゃっていたため選びました。興味を示していた。音が鳴るため、その音に反応していた。
74	木製の電車のおもちゃを持参しました。事前に保護者の方に連絡した時に、室内で遊べる手先を使うようなおもちゃが欲しいと言っていたので、男の子も女の子も楽しめそうなおもちゃを選ぶよう心がけました。子どもたちは喜んで楽しそうに遊んでくれました。特に、女の子は私たちの訪問中ずっとそれで遊んでくれていました。

75	訪問先のお母様から、室内で遊べて手先を使ったおもちゃを用意してほしいとのご依頼があった事と、3歳の女の子と1歳の男の子両方が遊べるということも考え、8の字トレインセットという、木製でできたレールを繋げその上に電車を走らせるというおもちゃを持参しました。3歳の女の子は訪問時間中はずっとそのおもちゃで遊んでくれました。1歳の男の子も木の電車を掴んだりして遊んでくれました。途中でおもちゃの取り合いが起きるくらい2人とも気に入ってくれました。
76	動物のおもちゃがないということだったので、少しでも長く遊んでもらえるように少しリアルな動物のフィギュアを持参しました。ワニがリアルすぎて怖がっていましたが、それ以外は気に入って手に取って遊んでいた。
77	動物の置物を持っていきました。レゴの動物がなかったので、それにしました。気に入ってくれていたけど、唯一ワニの置物だけ怖がっていました。
78	スイスイおえかきです。いつでも使えるようにスタンプがあるものを選んだ。箱を出すと、興味を示してくれた。
79	面談時にお母さんから「すいすいお絵描きがいい」と希望を聞いていたので、ペンとスタンプのついた水で描けるおもちゃを購入しました。なかなかお母さんべったりで私たちを警戒していたので「新しいおもちゃ持ってきたけど、見てみる？」と声をかけてプレゼントを渡しました。「なんだこれ」というような反応でしたが、お母さんが開封しているのを一緒に手伝っておもちゃに興味を示しているように見えました。アンパンマンやバイキンマンを描くと「あっ！」と反応していて、自らアンパンマンの上に線を描く様子がありました。
80	ミニーちゃんの誕生日という1歳半から遊べる大きなLEGOを持参しました。ミニーちゃんが好きだということなので、ミニーちゃんのLEGOにしたのと、年齢に合ったサイズのもので考えました。反応は、何度か「ミニーちゃん！」と言って遊んでくれたので喜んでくれたと思います。
81	ミニーちゃんのレゴブロックを持参しました。子どもが、ミニーちゃんが好きということを知っていたので、とても喜んでくれて、すぐに「あけて」という雰囲気を出してきてくれ、満足して遊んでくれていたと思います。ずっとそのおもちゃに集中してあそんでいる姿が見られました。
82	魚釣りのおもちゃ、プリキュアの折り紙、動物の鳴き声が出る絵本を持参しました。保護者の方に事前に聞いていたので、子どもたちが興味を持っているものを選びました。1歳の子が口に入れたりしなくていいように考えました。
83	お子さんの好きな物を聞いて、1歳の子は「ぞう」など動物に興味があると仰ったので、動物の鳴き声付きの絵本を。4歳の子は「プリキュア」が好きだとおっしゃったのですが、キャラクターのものを与えたくない保護者もいるので、折り紙ボックスを。また、2人で遊べるように、1歳の子が食べてしまわない程度の大きさのもの、長く使って貰えるもの、と考えて、魚釣りのおもちゃをプレゼントしました。絵本は、音の出るボタンを何度も押して、特に「ワンワン」が好きで何度も聞いていました。折り紙は、プリキュアの宝物入れにすぐしまって、大切に保管されてしまいました、！魚釣りは、2人にはまだ少し難しく、止めてから釣り糸を口に入れて、動かして釣っていました。ハイスピードで回ると音が面白いらしく、スイッチを入れては消して、を繰り返していました。
84	アンパンマンの絵本、電車、おままごとセットを持参しました。今までに家にあった電車と線路も使って一緒に遊んでくれました。おままごとセットにも興味を持ってきて、あっちで遊びたい、こっちで遊びたい、と楽しそうな様子で嬉しかったです。
85	木製の電車、おままごとセット、アンパンマンのしかけ絵本をプレゼントしました。子どもが電車とおままごとに興味を持っていることをお母さんにお聞きしてそれに沿って選びました。おもちゃを渡したら興味を示してくれて、そのおもちゃでずっと遊んでくれていました。
86	おままごとが好きな女の子で、お皿やお鍋が自宅になくて困っていると伺ったので、プラスチックのお皿とお鍋のセットやフェルトで作られた柔らかい野菜のセットを持参しました。おもちゃの大きさであったり、素材や色などにも考慮し喜んでもらえるようにと思って選びました。実際に渡した時の反応としては、とても嬉しそうで、すぐにおもちゃに触れてお皿を広げたり、沢山の野菜を入れて遊んだりとすごく楽しそうでした。自宅にあった子ども用のキッチンで、そのおもちゃを使って一緒に楽しく料理したり食べたりして遊びました。
87	ままごとに使うプラスチックのお皿、お鍋セットと布でできた野菜セットを持参しました。お皿は保護者からのご要望があったため、使いやすいプラスチックのを選び、それと同時に1歳なので柔らかい素材でできた野菜セットを選びました。お子様はとても喜んでおり、ずっと手に取り遊んでいました。

問 15 :実際に子どもと接してみて、どのようなことを感じましたか？

どんなことでも結構ですので、具体的にお聞かせください。

※マークは、2回目以降の訪問の回答

1	<p>純粋にかわいかったです。まだ言葉をあまり話せない子だったので、反応が返ってきてはいるけど何を伝えようとしているのかわからなかったのが、子どもと関わる難しさだなと感じました。また、おもちゃを気に入ってくれて楽しそうに遊んでくれている姿を見るのはとてもうれしかったです。</p>
2	<p>まだ発語がないので、遊んでいて少しさみしい感じがした。子どもからの発語や、反応のない時期の子育ては寂しくなりそうだなと思った。笑ってくれたり、何か反応があると嬉しかった。</p>
3	<p>一緒に遊ぶことはとても楽しかったです。遊んでいる中で、子どもの興味はころころといろいろなものに移っていくということを実感しました。私たちがうかがった間だけでたくさんのおもちゃで遊びました。お母さんが、ずっと二人で遊んでいるとネタが尽きてきて遊び方が難しいとおっしゃっていたのが分かりました。</p>
4※	<p>とてもかわいかったです。今回のお子さんは少しずつ話せる言葉も増えてきているところで、猫を「にゃー」と言ったりしていました。また、お人形さんとキスをすることが楽しいみたいで、「チュー」と言いながらお人形さんを見せると自分からキスしに来る姿がとてもかわいかったです。</p>
5	<p>とても可愛かったです。よく動き回し、よくおしゃべりする子で、お母さんも、歩くようになるまでは寝て起きる度に歩数が増えていたし、今はその度に話す言葉が増えていると言っていて、子どもにとっても親にとっても一瞬一瞬がとても大事で、かけがえのないものなのだなと感じました。私にとっても、とても尊い時間になりました。</p>
6※	<p>例えば、おもちゃの本来想定されている使い方ではなく、違う使い方をするなど、大人が想像しないようなところへすぐ夢中になっていて、子どもって面白いなと思った。</p>
7※	<p>もうすぐ8か月ということでしたが、はいはいは、まだしていないとのことでした。親だったら不安になるかなと思いましたが、お母さんは、お姉さんやママ友たちとの交流をしてお話をしながら子どもの育ちの違いを楽しんでいるようで素敵だなと感じました。まだはっきりとはしゃべれないけど、う～う～と嬉しそうに声を出している姿がとてもかわいかったです。</p>
8※	<p>お母さんがすごく楽しそうに子どもさんと接しておられたのがすごく印象に残っています。お母さんが楽しそうだと、子どももなんとなく安心しているように見えました。</p>
9※	<p>人見知りをしている子だったので、お母さんが離れるときはとても泣いてしまっていました。最初の数分は遊びに集中してお母さんがいないことに気づかなくて、途中で必ず気づいていて、周りも見ているのだなと思いました。後追いもするということが家事などができず大変だなと思いました。</p>
10※	<p>お母さんの安心感というのはとても大きいなと思いました。特に今回の家庭は、後追いが始まったばかりのお子さんだったため、お母さんがいないとわかるとすぐ泣いたりしてしまっていました。</p>
11	<p>とにかくかわいい、癒されるの一言に尽きます。ただし、あくまで今回の私たちは3時間という短い時間だったので、いざ育てていくとなると、責任感などが伴い、大変にもなるだろうと感じました。しかし、同時に、自分の子どもの成長を見れるのは大きな喜びにもなると思います。</p>
12	<p>おにいちゃん是人見知りのない時期だったようで、会ってすぐからでも一緒に遊ぶことができました。普段子どもと接することがなかったので、子どもの元気さや子どもならではの視点などを感じることができました。</p>
13	<p>出来ることと出来ないことが、3歳離れているとやっぱり多くあるな…と思いました。あと男の子と女の子では、やっぱり触れた感覚や興味を持つ方向性が違うなと思いました。</p>
14	<p>上の子は言動の端々に我慢していたり、堪えたりしていることが分かるので、たった3歳でもやっぱりお兄ちゃんだなと思いました。下の子は甘えたで、あちこちに気になるものがある時期なのか、コレ見ているねと言ってもすぐにキョロキョロしてしまったりしていたので、ここから成長して聞けるようになるんだなと思いました。</p>
15	<p>子どもがとにかく可愛くて、ニコッと笑ってくれたときはとても癒されました。私は子どもが好きですが、周りに小さい子どもがいなくて、子どもと接するのにあまり慣れていなかったため、子どもが人見知りだとどのように距離を縮めていけばいいかが、難しかったです。ですが、どうすれば子どもが興味を持ってくれるのかを考え、おもちゃの遊び方を工夫出来たかなと思います。</p>

16	おもちゃの箱や包装紙に興味を持つのは意外でした。包装紙に動物の絵が沢山書いてあって、それをみてぞうさんやうさぎさんなど教えてあげることも大切なのだなと思いました。お母さんがいなくなると泣いてしまったり、すぐ人見知りを発揮されたのでどうやって接すればいいのか初めは躊躇しました。けど、30分くらいすると近くに寄ってきてくれたりして嬉しかったです。
17	一緒に本を見たり、ぬいぐるみで遊んだのですが知っていることを沢山話してくれたり、色々な物を持って積極的に関わりに来てくれて、いるだけで明るくなると感じました。
18	子どもの可愛さ、明るさ、優しさに触れて改めて子どもの良さを実感しました。また子育て家庭の雰囲気を知り、とても温かく優しいものだと感じました。
19	最初は知らない人がいきなりきて不安そうにお母さんに抱きついていたがだんだん慣れてきたのか笑顔を見せたり手を握ってくれたりした。でも、お母さんが近くにいないと不安になり泣き出しそうになっていたのやはりお母さんは偉大だなと感じた。
20	これまで小さい子どもと接する機会が全くなかったので、うまく対応できるか不安だったけど、「さすが子ども学科って感じだね、あやすのが上手。」と言ってもらえて自信ができました。また、プリンと一緒に食べたのですが、その子にとって初めてのプリンだったそうなので、子どもの「初めて」と一緒に過ごすことができたのがとても嬉しかったです。実際子どもと接してみて、将来のことなども少し具体的に考えることができたし、自分が母親という立場になった時にも役に立つ経験になったと思います。今回の経験を通して、より一層子どもと関わる仕事に就きたいと強く思いました。
21	子どもの発見は、レゴの説明書を見ながら作っていましたが、途中で、こんなも作れそうと、あんなも作れそうや、こんな作りたい！とどんどんその子なりに発見していました。
22	今までもボランティアなどでたくさん子どもたちと関わることはありましたが、違うご家庭にお邪魔し、特定の子どもたちと関わられたので密度の高い関わりになったのではないかなと思います。子どもの特色が知れたのでとても楽しんで関わることができました。
23	何よりお母さんが大好きなこと。一緒に遊ぶ中で感じたことは、好きなものはとっても好きで覚えが早い。
24	毎日が大変だなと実感しました。
25	思っていたよりも年齢に応じたおもちゃを選ぶことは難しいなと感じました。お兄ちゃんの遊びを見て妹が真似する姿を見たり、お兄ちゃんと同じ遊びをしたがる様子を見て、兄妹関係って大切だと思いました。一緒にブロックをして、自分で考えてつくる様子を見て子どもの想像力の豊かさを改めて学びました。一緒に楽しく遊ぶことができとても楽しかったし可愛かったです。
26	やっぱり子どもっていいなと思いました。大変な部分もたくさんあると思いますが、子どもがいるだけで自分自身の自由な時間も奪われたりすると思います。ですがそれ以上に自分の中の癒しになるのかなと思いました。
27	声や行動が想像より大きく、初めはビックリしました。でも接していくうちに元気いっぱい楽しいなと感じました。
28	子育てをすることで自分も成長させられるということ、子育ての大変さの中で子ども達から得られる癒しが励みになるということ、お子様が考えることには親や周りの人の影響が大きいということ、感じ方には個人差があるということなどを学びました
29※	イヤイヤ期で、楽しいことをしようとしても急に泣き出すことがあり、何が嫌なのかわからない辛さがあった。でもその中でお母様は「〇〇がしたいん？」を色々言って違うことをするようにしたりあやしたりして、お子様を笑顔にさせるようにしていたのが勉強になった。喋り始めた時期なのでうまく言葉は言えなくても、表情で感情がわかるということに感心した。
30※	想像よりパワフルで体力勝負だと感じました。
31※	いつもは、機嫌によってあまり遊んでくれなかったりするのですが、お家で安心して遊ぶことができるのか、すごく機嫌よく一緒に遊んでくれました。
32	喜怒哀楽が激しくさっきまで笑顔で遊んでいたのに何がいやだったのか分かりませんが突然泣き出したり忙しかったです。ご飯も、途中からよだれかけを付けておくのが嫌になり脱いでしまい、服が汚れてしまったり親は休む暇がないなと思いました。
33	私はこういったボランティアに参加することや一歳の子どものと接するのは初めてだったのでとても緊張しました。あまり言葉を話せないため意志の疎通が難しく、自分の力不足を感じたのですが、お昼ご飯のスープを子どもの口に運んだ時に嬉しそうに食べてくれたのがとても嬉しかったです。おもちゃで遊んでいる姿を見ている時も「音が出るものが好きなのかな」と考えたり、勉強になることがたくさんありました。
34	子どもはめっちゃ元気で大変でしたが、何故か子どもの気持ちが分かりました

35	子どもは「おもちゃ」というおもちゃでなくても、紙やボールを何かに見立てておもちゃにして遊ぶことができるということが分かりました。
36	子どもと接するのはやっぱり楽しい。最初はお互いに緊張してどうしたら良いのかわからなくて、子どもに接しようとしても子どもも恥ずかしくて逃げてしまったりした。途中から徐々に緊張もなくなって子どもから声をかけてくれるようになり嬉しく、楽しかった。
37	最初はおもちゃ喜んでくれるかなとか楽しんで遊べるかな、など不安になることもありましたが、子どもたちからたくさん教えてくれたり、話かけてくれました。子どもにとってお家で保護者の方と過ごすということがとても安心できる場所であることを感じました。子どもたちがのびのびと過ごせる環境づくりの大切さも学ぶことが出来ました。子どもたちの想いや感情が最大限に表現できるような関わり方や環境づくりをこれから学び、保育の道へ進んでいきたいと思いました。
38	子どもって改めて可愛いと思いました。笑いかけると笑い返してくれて、本当に癒しの存在だと思いました。なんでも口に入れるので、ずっと見ておかなければならないのは、大変かなと思いました。
39	まだ話すことができなければコミュニケーションは取れないと思っていましたが、スキンシップによりコミュニケーションを取っていたことに驚きました。
40	最初は私にあまり心を開いてくれず不安でしたが、一緒に遊んでいくにつれて徐々に打ち解けてくれた時は本当にやりがいを感じました。小さな子どもを扱うのは凄く大変で労力があることだけれど、その先には喜びや感動・新しい発見が待っていると分かっているからこそ親御さんたちは子育てを頑張れるのではないかなと思いました。
41	子どもは好奇心が旺盛で、なんでも興味を持つので、なにに興味を持つのかを観察するのは楽しかったです。その反面、危険がないよう、しっかり見守ってあげなければならず、安心して子育てできる環境も必要だと思いました。
42	0歳の子どもでも、自分の意思を伝える力がかなりあるんだなということに驚きました。ご飯をあげて、ほしいというときは手をばたつかせてほしいということ伝えて、つかまり歩きして凄いなと褒めてあげたときはニコニコ笑って満足そうに喜んだり、眠たかったり、甘えたいときなど、感情によって泣き声も変わることがよく分かりました。
43	子どもと接するのが一般的に苦手な方でしたが、お子様の方から寄ってきたりするととても可愛らしく思えました。
44	手を握ってくれたり、一生懸命たくさんのことをお話ししてくれたり、見て見て！とたくさんのものを見せてくれてやってくれたりして、やっぱり子どもは可愛いなと感じました。お姉ちゃんがやったことをなんでも真似したくなる、妹ちゃんの姿がとても可愛いかったです。
45	子どもたちはとても純粋で素直でした。感情が豊かで2人とも人見知りがなく自分から話しかけてくれました。私も子どもたちと接していると自然と笑顔がこぼれてきました。
46	まず第一に母親という存在の大きさをとても感じました。また、両親が協力して育児を行うことの大切さもひしひしと感じました。
47	私は以前から子どもが好きで小学生くらいの子どもと関わる機会が多いのですが0歳児と関わる機会はなくどのようにして遊ぶのか最初は少し不安でしたが思っていたよりも私に出来ることが多く楽しかったです。
48	やはり、子どもはかわいいなと思った。姉妹、仲が良くていいなと思った。キッチンセットで、ご飯を作って、ごちそうしてくれて嬉しかった。泣いちゃうかなと思ったけど、懐いてくれて嬉しかった。
49	子どもって自分の時間が削られるし、子育てって大変だって思うけど、子どもの顔を見るとやっぱり温かい気持ちになるし、癒されるなって思いました。
50	家庭での子どもの様子を見る機会はあまりなかったので勉強になった。今回はどちらも未就園の子どもの家庭だったので、家庭で孤独感や心細さを感じそうな要因が多々あることを話の中で感じられた。
51	ご家庭で子どもと遊んだためか、他の施設で遊ぶ子ども達よりもリラックスして遊んでいるように感じました。遊びでも好きな遊び、お気に入りのものなどをを見せてくれて一緒に遊ぶなど子どもが楽しそうにしている私も楽しくなりました。ご家庭には子どもがきょうだいだったためお母さんがかかわるときに大変そうな様子も見られ、子育てすることは楽しいけど忙しく大変なものだと感じました。
52	想像以上に、子どもたちからも話しかけてくれたため、とても嬉しかったです。明るくて、元気な子どもたちだったため、遊び終わった後、こちらも元気をもらえた気がしました。また、家事をしつつ、子どもたちと遊ぶ時間も大切にしておられるご両親の姿を見て、子育ての大変さと楽しさを改めて感じました。

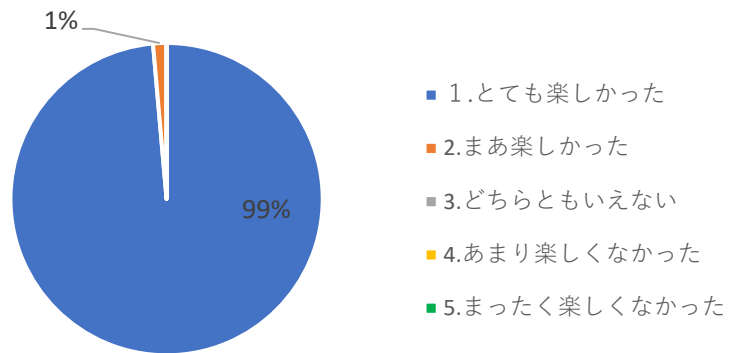
53	実際に子どもたちと接してみて、想像力の豊かさに驚きました。積み木で電車を作ったり、遮断機にしてみたりと工夫をしていました。また、4歳、2歳でも妹に対して兄としてしっかりお世話をしようとしている姿を見て自分以外の存在に気を配れる力が身につくのは意外と早いかもしれないと感じました。赤ちゃんの笑顔は、周りが自然と笑顔になるものでした。
54	実際に子どもと接してみて、とても愛おしく感じました。私は10歳離れた従兄弟がおり、その子と接した以来、0歳児さんと関わる機会がなかったからです。本当に可愛く、癒されました。お昼寝してなかったようで、途中ぐずって泣いてしまったときもありましたが、赤ちゃんは泣くのが仕事ですし、お母さんを求めて泣く姿も愛らしいと感じました。
55	実際に子どもと関わる機会があまり無かったので、改めてどんな事をしたら喜んでくれるかやどんなおもちゃや絵本が好きなのかということを知ることができてよかったなと思った。また子どもがとても可愛いくて愛おしい存在なのだなということも改めて感じました。
56※	1歳の子どもでもしっかり言葉を理解していて、すごいと思いました。
57※	子どもは素直で可愛いと思いました。最初は人見知りをしていて感じだったけど慣れてきてからは自由に遊んでいたのが良かったです。
58※	まず、とても可愛らしく、幸せな気持ちになれました。普段、あまり赤ちゃんと接する機会がないため、抱っこをさせていただく時はとても緊張しました。笑ってくれたときは本当に嬉しかったです。
59※	離乳食をあんな風にしっかり食べるとは思っていませんでした。食べる順番を考えたり、色々な味を用意したりとお母さんの努力がよくわかりました。また、好きなものときは、ニコニコしていて、この時期から好き嫌いが生まれてくるのかなと感じました。はじめてのおもちゃにはとても興味を示していて、叩いたり、蹴ったり、偶然鳴った音に喜んだりしていて、自分なりの遊び方を見つけているようにも感じました。
60	元気をもらえるし、優しさや温かさを感じることができました。最初は、少し恥ずかしがっていたりしていたけれど、一緒に遊んでいくと、自ら近づいてくれたりして、嬉しかったです。恐竜をなにより喜んでくれて、飽きることなく遊んでくれて、その顔を見て良かったと思いました。
61	子どもはとてもかわいくて、まだうまく喋ることができない中でも何かを伝えようとしてくれて、こちら側がその意味を汲み取ったり、子どもがしてほしいと思っていることを的確にできたときにすごく嬉しそうに笑ってくれて、その時はこちらもすごく嬉しい気持ちになれました。
62※	兄弟の年齢がバラバラすぎて、一緒に遊ぶにも、2才の弟くんはルールがわからず、カードをぐちゃぐちゃにするのが楽しいと思っていたり、お兄ちゃんは難し目のドンジャラをやりたがったりだったので、同時にみんなで遊ぶのは大変だなと思いました。
63※	子どもたちはかわいかったです。お兄ちゃんが妹を叩いちゃったときがあったんですけど、すぐは泣いちゃって、でもそのあとまた楽しそうに遊んでいて、兄妹だなと思いました。末っ子の弟がおもちゃを壊しても優しく修理する兄の姿もあり、よい兄弟だなと思いました。
64	まだ言葉が出ないので、考えていることを読み取るのが難しかったです。自分たちの選んだおもちゃを喜んでくれ、遊んでくれていたのはうれしかったです。年齢が同じでも今まで触れ合った実習の子たちと異なっていました。最初は人見知りが出てしまい、警戒心を感じました。その警戒心を解く方法はなかなか難しく時間と共になくなるといったことが多かったです。
65	家の中で接するのと保育所などで接するのはまた全然違うなと思いました。家だと子どもが毎日生活してる場なのでほんとは自由にリラックスして過ごしてるんだなと感じました。まあ、保護者がいるので甘えたさんな気もしました。
66	大人のしていることをよく見ているなと思いました。持参したおもちゃをこういう風に遊んでも楽しいかなと試していたら、見ていたようで同じことをしていました。
67	保育所と違い子どもが1人だけだったので深い関わりをすることができました。訪問した家庭は危険な物が少なかったため子どもの行動を観察はしていましたが、ヒヤッとすることはあまり無かったです。
68	初めから人見知りせず、キラキラした目で迎えてくれて、「お姉さん達が来るのを楽しみにしていました」と言ってくれて、なんて純粋で素敵な子なんだと思いました。色んなおもちゃで遊んだり、お話ししたりと、本当に楽しそうな表情を見ることができ、こちらもとても嬉しく感じました。2歳の子は様々な見立てをして、遊びにストーリーがありとても想像力豊かだなと感じました。ご両親がその子のストーリーにきちんと答えていて、だからこそなんだと思いました。

69	絵本を読んで欲しいと言われ実際に読んでみると、授業とは異なり実際に子どもを相手にして読むことは想像以上に難しく、保育士を目指す者としてもっと子どもの興味を引きつける読み方を練習する必要があると感じた。シロフォンなど他のおもちゃで遊ぶ時も、私は「すごいね！上手！」といった限られた反応しか思いつかなかったが、お母さんは多様な反応をしていて流石だなと感じた。
70	とってもかわいかった。自分も早く子どもが欲しいと感じた。
71	保護者の方にどのように甘えているのか、初めて会う人と、探り探りで関わろうとしている姿を見て、1歳でも、自分で考えて、甘えられる人、遊んでくれる人というように理解して接しているのだなと思いました。
72	とても可愛くて、癒された。
73	自宅では、保育所などの施設では考えにくいような怪我も多くあることがわかった。例えば、机の角や少しの段差などでもぶつかったりこけたりしているため、乳児は特に注意が必要だと感じた。
74	最初は緊張気味だった子どもたちでしたが、一緒に遊ぶにつれて膝に座りにきてくれるようになったり、いっぱい話をしてくれるようになったのが、とても可愛くて嬉しかったです。おもちゃに少しの工夫を加えると、子どもがより楽しめるということを学んだので、保育者になるには、遊びの発想力も大切なものの一つだなと思いました。
75	普段子どもと接する機会はなかなか無いので、とても新鮮に感じ、私自身が一番楽しんでいました。子どもたちがどういう風におもちゃで遊んでいるのかを間近で見て、ただ遊んでいるだけでなく、子どもなりにどうやったらいいのかを考えながら遊んでいるのだなと感じました。
76	いつもは人見知りが激しいと聞いていたので覚悟していましたが、泣くことはなく笑顔で関わる事ができた。子どもの目線で話すことで心を開いてくれた。可愛い。想像以上に自分でできることが多かった。
77	やっぱり子どもと接するのは可愛いなと思いました。それと同時にその子は私たちになにを伝えたいのか、訴えているのかを感じ取れるようにならないといけないと感じました。
78	子どもの笑顔に癒された。大変なことがあっても、笑顔を見ると頑張ることができると思った。
79	まずは、終始可愛かったです。人見知りしちゃうとお母さんが教えてくれていたので、目線を合わせてできるだけ「誰かな～」「びっくりだね～」と気持ちを代弁しながら慣れられるように努めました。お母さんがいると目も合わせてくれるので、愛着対象の存在の大切さが表れているなと感じました。着替えもすべて委ねるのではなく、自分で袖から手を抜こうとしていたり、ズボンを下ろすと足を上げたりして自立が始まっていることがわかりました。上着を切る前に頭をポンポンと触って帽子を伝えたり、いつも帰ってきたらエントランスでポストを見るそうで「今日はいいよ」とお母さんが言ってもポストの方を指差していました。生活の中の流れも理解しているのかなと感じられました。なにより、短い時間でしたが、お母さんが子育てを楽しんでおられることがわかって素敵だなと感じました。
80	踊ることや歌うことが好きだと聞いていて、その通りとても明るい子で転んでも泣かずに進んで行くので強いなと思いました。また、公園で遊んだ時は何度も滑り台を滑ったりいろいろなところについて遊ぶので目に入る全てが興味になるものなのだなと思いました。そしてあちこち行ってとっても元気なので子どもの体力はすごいなと思いました。
81	イヤイヤ期というのは1歳~2歳で絶対きますが、お母さんがとても大変そうにしている毎日子どもの世話が大変だと思いました。もしも、イヤイヤ期で仕事などがあつたら家庭でも社会でもストレスがたまってしまうのではないかなとも思いました。外で遊んで、家に帰るのも一苦労でした。
82	だんだん心を開いて遊ぼうとしてくれる姿が見られました。1歳の女の子は、4歳のお姉ちゃんの真似をして、言語の発達も速いなと感じました。パズルをしたとき、自力で完成させたいという気持ちがあるがなかなか出来なかった時、どうサポートするか迷いました。でも本当に色々な話が聞けて勉強になりました。
83	まず、とても可愛かったです。4歳の子が初めは人見知りで、自分の名前も言えなかったのですが、おもちゃを通して関わるうちに心を開いてくれて、色々なことを話して教えてくれるのが嬉しかったです。1歳の子は活発でお喋り、色々なことに興味を持っていて、どんな反応するだろう？とたくさん観察させてもらいました。
84	少しの時間しか関わっていませんが、たくさんお話しようとしてくれたり、自分たちの方へ来てくれる姿がとても可愛くて、そして同時に子育ての難しさもとても感じました。目が話せないでその隙に家事をされている保護者の方々のすごさを実感しました。

85	私たちがプレゼントしたおもちゃでずっと遊んでくれていてとても嬉しかったです。KIT よりも家で遊んでいる方が伸び伸びして、自分の家は落ち着くのかなと思いました。お母さんが1人で2人の子どもをみることの大変さを実感しました。危険のないよう目が離せないため、瞬間を狙って家事や掃除をする大変さも分かりました。子どもが楽しく過ごせるように、散歩でも、行きたいところに行くなどの、子どもの意志を大切にされていることをとても感じました。
86	本当に可愛くて自由に好きな時に好きなおもちゃで遊んでいてとても楽しそうだなと思いました。また会話をする中で言葉を理解しており「どうぞ」など話しかけると「あー」と返してくれたりなどして嬉しかったです。とても可愛かったです。本当に自分の将来にこのような可愛い子どもができればすごく可愛いだらうなと思いました。
87	一歳は幼くとても可愛かったです。自分でできることはしている姿がありじぶんで靴を履いたりできていたのすごく良かったです。周りのものにすごく興味をもって、歩くたびに、葉っぱ、自転車、ブーブーなど指を指して言っていたのでなんでも興味をもって今はいろいろ覚える時期なのだなと感じました。

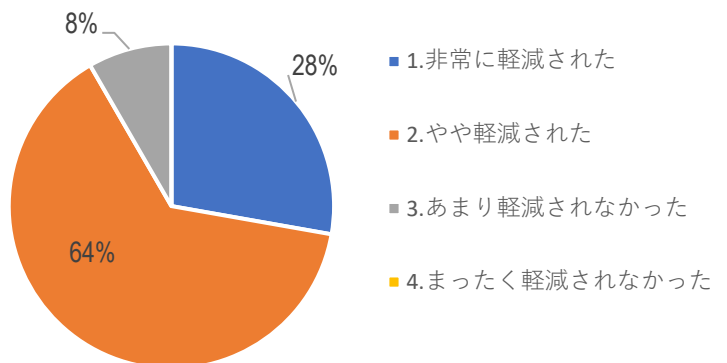
問 16: 今回の訪問で、子どもと関わるのは楽しかったですか？ (SA)

	n	%
1.とても楽しかった	71	99%
2.まあ楽しかった	1	1%
3.どちらともいえない	0	0%
4.あまり楽しくなかった	0	0%
5.まったく楽しくなかった	0	0%



問 17 : 今回の訪問により、あなたの子育てに対する不安は軽減されましたか？ (SA)

	n	%
1.非常に軽減された	20	28%
2.やや軽減された	46	64%
3.あまり軽減されなかった	6	8%
4.まったく軽減されなかった	0	0%



問 18: 前問でお答えになった内容について、どのような点についてそう思われましたか？

どんなことでも結構ですのでお聞かせください。

軽減されたと選択した学生の回答

※マークは、2回目以降の訪問の回答

1	反応が返ってこないことで、自分の子どもへの関わりが目の前の子に対してどのように届いているのか、というのがわからないというはとても不安だなと思いました。ただ、楽しそうに笑うお子さんを見ていて、自分も自分の子どもを育てたいという気持ちは以前より強くなりました。
4※	反応が返ってくるようになると、コミュニケーションが取れるようになり面白いこともたくさんあるなどと思いました。
5	やっぱり子ども好きだなあ、将来ほしいなあ、と強く実感することはできましたが、やっぱり不安は不安だし、今回の訪問によってすべてが軽減されたわけではないです。その理由として、お母さんと話した中で、「自分の身体のことを思うと早めの出産がいいけど、ある程度仕事してからのほうが子どもにお金をかけられる」という話があったからです。自分のライフプランをもう一度考えないといけないと感じました。
6※	今まで、子育てを乗り越えるためにはママ友が必要だけど、ママ友同士の揉め事とかがよくあるので怖いなと思っていたのですが、お母さんが、「ママ友って怖いようなイメージがあるけれど、案外楽しいよ！子どもを産まなかったら出会わなかっただろうなというような人たちに会うことができて楽しい！」とおっしゃっていて、案外いいかもと思った。
7※	出産時について詳しくお話が聞けました。「怖かったら無痛分娩や和痛分娩の選択肢もありだと思、自分の体大事にしてね」というお母さんの話を聞いて、これからは、そういう物理的な子育ての痛みも軽減されていくのかなあと感じました。
8※	お母さんがすごく楽しそうに子どもさんと接しておられて、子育ても案外楽しくすることができるのかもしれないと思ったからです。
11	子どもが親御さんにしっかりと懐き、大事なところではしっかりとということを聞いていたからです。もちろん私たちが訪問したご家庭の教育や子育てがお上手なのは言うまでもないですが、しっかりと愛情をこめて育てていけば、子育てができると思えました。
12	子育てをするうえで大変なことは多いけれど、一緒に遊んだりお母様からのお話を通して子育ての中でも楽しさや喜びを感じることができるとより分かったから。
13	想像より周囲の助けや、何とかなることがわかったので。
14	自分が思ったよりも背負いすぎなくていいんだ。視界を広げるためにもあまり必死になりすぎなくていいんだ。子どもはそういった大人の感覚に敏感だからね。と言って貰えて、軽減されました。
15	うさぎのおもちゃを持って、うさぎが話してるようにしてみたり、うさぎでいないいないばあをしったりすると、興味を持ってくれて、反応が大きかったです。アンパンマンのドライブキーはボタンを押すと音が鳴るおもちゃで、何回も押して喜んでいました。鍵をジャラジャラすると、その音にも反応してくれました。このようにして、遊び方を工夫できたかなと思います。
16	責任が増えたり、機嫌がいい時にお買い物に行かなければいけないなど制限が増えるけど、それでも楽しいことや癒されることが多いと聞いて、無理だと思ったこともやってみればそんなことなかったりすると聞いたからです。
17	私たちがお子様と遊んでいる際などどんな時でも保護者の方がにこやかで、男の子が泣き出した時にお母さんが来るとすぐに泣き止んでいるのを見てそう感じました。
18	子育て家庭の雰囲気がとても温かく優しいもので、幸せな空間を感じることもできたから。
19	前は子どもが泣いたりしたら不安になってどうしたらいいかわからなくなっていたけど今回体験して泣きそうになってもなんとなくお腹空いたのかなとか眠たいのかなとわかるようになったから。
20	子どもの、「ママじゃないと嫌」な時期では、父親がいても結局母が世話をすることになるので、その点は少ししんどいなと思った。
21	お母さんもとても楽しそうだったからです。
22	子どもたちと関わることで、子どもの笑顔や楽しんでいる姿を見ることができたのがとてもよかったと思いました。
23	周りの人と関わることで一人で子育てをする不安や疲れが軽減されることが分かった。
24	話を聞いていて。
25	1番は子育てをしているお母さんのお話です。出産・育児などたくさんのお話を聞かしていただき、イメージを湧かせることができました。次に、子どもと関わることの楽しさです。子どもの可愛さに触れて、より子どもが可愛いと思い、好きになりました。
26	お子さん達と遊んでいる時に子どもの発見した顔とか、笑った顔とか泣いている顔とか見ているとすごくこっちまでも笑顔になっていたの子どもっていいなと思いました。

28	叱る時にはこう叱れば良いのかや、褒める時はこう褒めれば良いのかなど、子育ての仕方を学んでとてもためになったという点。それとともに、子育てを甘くみていたら後々大変になるということもわかった。
29※	仕事を週に数回して、子育てをしながら(保育園も利用)でも、息抜きの時間を作ろうと思えば作れると聞いて、少し安心したから。
31※	子どもと過ごすのはすごく楽しいということも聞きましたが、妊娠高血圧症や、発達障害など、子育てや出産に関してすごく大変だったことも聞いたから。
32	おもちゃで遊んでいるときやご飯を食べている時です。特に眠たくなっている時は、よくぐずっていました。遊びたいけど眠たいと思っていたのかなと思いました。
34	楽しい分、お母さんの大変さを目にすることがあったから。
35	今回訪問させていただいたご家庭は3歳の子と6ヶ月の子がおられたので年齢が違うお子さんと触れ合え、それぞれの年代に合った遊びや関わり方を学ぶことが出来た点。
36	保育の仕事をしていくなど、子どもを産んで子育てをすることに凄く楽しみがあるが、実際親が子どもがいる中でどのように自分の時間を作っているのかなどが気になったので聞いてよかった
37	訪問する前は子育ては忙しい大変というイメージを持っていましたが、お母様からのお話を聞いて家族の支えがあるから毎日楽しく過ごせているということ聞き子育ては一人じゃない、みんなで支え、育てていくんだなと感じました。そして私たちができることを今後考えていきたいと改めて思いました。
38	母親の方がたくさんお話をしてくれたのですが、あまり気負わず、なんでも7割でいいという話に気が楽になりました。たまには、自分の息抜きも必要だから、子どもを預けて思いっきり休んでもいいんだと教えてくれました。
39	親御さんの子育てについてのアドバイスを聞いて自分もそうしてみようと思うことが多々あり、参考になったため。
40	普段小さな子どもと接する機会があまりなく「子育て」に対しては想像でしか関わってこなかった自分にとって、この事業はその現状を実体験できた場でした。実際に自分がその場に身を置くことでお母さんの大変さや難しさ・悩みに加え、子育てをする楽しさや達成感、やりがいを少し共有できたような気がしました。辛さ以上の幸せがあることを身にしみて実感しました。
41	最近子どもの虐待がニュースでよく取り上げられており、子育ては母親にとって大きな負担になるのではないかと感じていたが、子どもの成長が親にとっての喜びであると聞いて子育てに対する考えが変わった点です。
42	私が一番気になっていた、仕事との両立について質問したときに、保護者のご回答として、現段階では少し難しいが、現在ではAIを使った家電など、家事の負担を減らし技術が向上していくことを考えると、将来的には可能になってくるのではないかとということでした。自分が将来子育てをする時に両立が可能なのは当たり前、といわれるような環境づくりに貢献する人間になりたいと思いました。
43	自分の子どもは思っていた以上に可愛くて、逆にお世話させていただいているような感覚になると聞いて、自分自身もそうなるのか楽しみになりました。
44	2人の子どもさんとお母さんが笑っていて、楽しそうに暮らしている姿を見て幸せそうだと感じました。さらに、姉妹がとても仲がよく楽しそうに同じことをして遊んでいる姿を見て不安は軽減されました。
45	一番最初の子育てでは、何をしたいのかも分からず焦るだろうなと思っていたのですが、家庭を見ていると大変さだけではなく、やり甲斐も感じられ、決して大変な事だけでは無いことを今回の訪問を通して学んだからです。
46	育児は悩むことも多いですが、それ以上の楽しさややりがいを感じられることを今回の訪問で実感することが出来ました。
47	お母様に育児に対する不安などをお聞きしたときに言われていた授乳中に窒息させないか最初は不安だったなどです。気を遣わなければならないことが増える点です。
49	お母さんが1人で2人を見るのはやっぱり大変だと言っていました。でも、子どもを見ると癒されるし、可愛いから写真を何枚も撮ってしまうと言っていたからです。
51	手作りの玩具などで楽しんで遊ぶ子どもの姿を見ると自分も作りたいなと思い、今後の原動力にもなりました。また、大変そうな様子も見られましたが、お話を聞くときにお母さんの表情が柔らかく楽しそうであったため、このような気持ちで子育てが出来たらなと思いました。
52	3人の子どもたちそれぞれの個人差を楽しみながら子育てしておられる様子を見て、子育ての楽しさを感じました。
53	一緒に遊んだり、おやつを食べたりと、とても楽しかったのですが、毎日家事をしながら同じようにすることを考えると大変さも強く感じました。しかし、子どもたちと楽しそうにされている親御さんを見ていて、大変な中でもそれを上回る楽しさや充実感もあると思いました。また、会話が

	うまく成り立たないこともあり、そのような場合の対応がとても難しく感じました。
54	私は学校で保育の勉強をしていますが、自分の子どももちゃんと客観的に見て育ててあげられるのかなどの不安がありました。今回訪問したご家庭のお母さんも初めての子育てで全て手探り状態で、あっという間に7ヶ月だとおっしゃっていました。一生懸命子どもと向き合っていけば、それだけでいいのだと思うことができ、心が軽くなりました。
55	子育てで大変な事やその大変だった事をどのように解決したのかというお話や将来、親になるにあたってのアドバイスなどを詳しく聞くことができたので、少し不安が和らいだから。
56※	お子さんがかわいくて、癒しだと思ったからです。
57※	大変でも子どもはとても可愛くて、子どもの笑顔で癒されると思いました。
58※	「子どもが産まれてから、世界が広がった」「区役所などで行われている子育てプログラムに参加して情報を得ている」ということをご両親からお聞きし、子育てについて学べる機会もあるということを知ったためです。
59※	妊娠期間から、気になる情報を届けてくれるメールの存在を知り、不安なことを少しでも軽減させようとしてくれる取り組みから子育てへの不安は少し軽減されました。しかし、保育園に入るのが大変だったり、離乳食を作ることがとても疲れることであったりと大変なことも増えることを知り、不安もやはり感じました。
60	やっぱり、こうでなくちゃ！と言う子育てはないと教えていただいて、子ども主体で動くと、親のストレスや育児に対する思いが軽くなるし考え方を変えていく事が良かったとおっしゃられていたので、とても参考になった。子どもがしたい時に、するのを、待つ。ダメなことはダメと言うけど、自由にさせることでトラブルは減ると感じた聞いて、とても勉強になった！
61	保護者の方から聞いた話の中で、子育てについて人それぞれ目指すものがあるとは思いますが、それを子どもに押し付けるのではなく子どもがしたいようにさせるようにすると、子どもも親も楽しく過ごせるということを知り、実際に訪問先の家庭の保護者も子どもも楽しそうだったから。
62※	お母様は色々おっしゃっていましたが、お父様がすごく協力的に見えたのと、ご夫婦がすごく仲が良さそうだったので、こんな家庭だったら理想だなと思いました。
63※	お父さんとお母さんに話を聞いて、とても暖かい家族だと感じ、子育てが楽しみになったから。
64	最初はおもちゃを出してもお母さんの後ろに隠れていたり、近づいても後ろをさりしてしまったりしてなかなかきてくれなかったから。
65	遊んだり、おもつを替えたりという不安は全くないけれど、離乳食や食に関してのアレルギーなどの不安が大きかったけれど、事前に血液検査するといよいよ。など色々なことを教えてくださったので少し不安がなくなりました。
66	実際に乳児が家庭で過ごしている様子を見たことがなかったので、不安なことがたくさんあったけれど実際に家庭で過ごしている様子を見たから。
67	自分の子どもというものがとても可愛く感じる事が出来そうで、子育てのマイナスなイメージが減りました。
68	私は県外出身なので、初めて兵庫県に来た時言葉や文化の違いに戸惑うことがありました。そのため、その様な慣れない土地で子育てをすることに少し不安がありました。しかし、今回訪問させて頂いた方も県外出身の方だと伺い、子育てをとても楽しそうにされている姿を見て不安が軽減しました。また、旦那さんも子どもたちと優しく関わり、ご飯を食べさせてあげたり、遊んだり、子育てを夫婦2人でやられていて、子育てってとても素敵だなと改めて感じました。
69	昼食の時、お父さんが帰ってきた。お父さんとお母さんと連携して子どもにご飯を食べさせている様子を見て、子育てには周りの人の協力が必要であることを身をもって実感した。1歳の子と手押し車で遊んでいて、もう直ぐ歩けるねと楽しそうに話すお母さんを見て、子育ては不安もあるけど楽しみもそれ以上にあるんだと感じた。
70	楽しくて可愛くて仕方がないのだと、感じられたから。
71	子どもの笑顔や成長することをこんなに身近に感じる事ができて、初めは不安しかなかったのですが、子どものためなら、なんでも楽しく感じる事が出来るし、頑張れるんだと思ったからです。
72	家事と育児を思っていた以上に両立できていたから。
73	お母さんがとても楽しそうに子どもと関わっており、このような関わり方をしたいと感じたから。

74	子どもと関わることはとても楽しくて学ばせてもらうことがたくさんあると思ったからです。今までは、子育てという親が子どもを育てるというイメージしかなかったけど、子育てする中で、子どもに色々なことを教えてもらおうだろうなと思いました。子どもだけでなく、親も一緒に成長できるのが子育てなのかなと思いました。
75	訪問先のお母様が、私たちが子どもたちと遊んでいる様子を見て「すごいね！」と言ってくださったり、子どもの様子を話してくれたりして、自分の子どもに対する接し方に自信が付き、また子どもにとってどういうことをしたらいいのか、について少し知れたように思いました。実際に子育て中のお母様から子育てのことに聞ける機会がなかなか無いのでとてもいい機会だなと感じました。
76	お母さんが楽しそうに子どもと関わっていたり、公園でママ友の方と楽しそうに話していたので。
77	子育てはすごく大変なイメージがあったけど、やっぱり大変そうで、お話を聞いてすごく参考になりました。でもやっぱりどんな子どもになるのか、育てるのは自分次第なので頑張って子育てするしかないのかなと思いました。
78	周りに相談できる人がいること、相談までいかなくても話を聞いてくれる人がいることで、気持ち的に楽だと仰っていた。訪問させていただいた家庭のお母さんに話を聞かせていただき、楽しそうに育児をされているのを見て、育児への不安が減った。
79	お母さん本人からそんなにしんどいことはないという言葉聞いて、安心できました。子育てに関する知識はなかったし、今も保育雑誌など見ていないとおっしゃっていました。でもそれが逆に、子どもの成長について考えすぎることなく、日々発見をしながら一緒に成長しているとおっしゃっていてそういう考え方もできるのかと新しい発見になりました。また、地方から来られたお母さんだったのですが、地域の施設やイベントを利用することで相談相手もでき、友達もできたと話していて、地域全体で子育てを行うとはこういう事だと気づきました。どこで子育てをしても助け合いがあれば、安心して子育てを行えるということが分かり安心できました。
80	ご飯を作るのも遊びに行くのも、手を洗う、着替えるなど細かいことも含めて全てをしなければならぬという事で体力面や責任感と自由な時間を作るのが難しいので精神面も鍛えておかないと大変だなと思いました。また、アレルギーや子どもの栄養を考えてご飯などを意識して作っているというの聞き、私は不器用なのでそれを全てをこなしているお母さんはすごいなと思いました。
81	保育園などとは違い、周りにライバル(他の子どもたち)がいなかったら、家庭という空間で子どもは自由にしているため、家庭内での子育ては自分が思うよりも大変そうだなというのが印象に残りました。しかし、このような姿を見ることができたため、子育てや子どもたちと関わるのに不安が減りました。
82	保護者の方がとても楽しそうに子どもと会話しておられて、とても幸せそうな日常だと感じました。子どもの成長の話や園の話など聞かせてもらって、育休を取ってるともお聞きしました。とても楽しそうに子育てをされていました。
83	初めはお母さんから離れず、様子を伺っているという感じでしたが、最後には自分から私たちの元へ来てくれたり、お菓子を渡してくれて、初めの距離が嘘のようでした。お母さんやお父さん、お姉ちゃんからいつも「どうぞ」として貰ってるからか、自分のおやつやおもちゃを私たちに「どうぞ」してくれる姿を見て、このまま優しい子に育てて欲しいなあと強く思いました。
84	子どもたちと散歩に行ったり、ご飯を食べたり、毎日が新鮮に過ぎて楽しそうだなとも感じました。同時に、一人の子を抱っこして、もう一人の子を手を繋いで歩くと、たくさん難しい場面があり、自分が母親になった時にやっていけるのかなとも感じました。実際に体験してみると様々な公共機関でも不便だなと感じることもありました。
85	実際に家庭での様子を体験させてもらったり、お母さんに質問したりできたので、疑問や不安が減りました。
86	私たちが笑うとニコッと笑い返してくれたり寄り添って来てくれたりしたのでその時に可愛いなとすごく実感しました。
87	保護者の方が柔らかく、笑顔でお子様と関わっていてとても楽しそうだったため、大変と話しておられましたが、大変さの背後には必ず子どもへのかわいい、愛おしいことがあるのだと感じました。

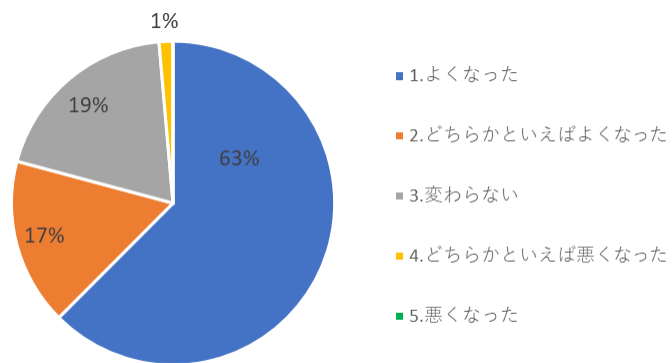
軽減されなかったと選択した学生の回答

2	子育て支援のサービスがあるとはいえ、子育てはやはり孤独を感じやすいような印象を受けたから。
3	自分の子育てに対する不安が2時間で軽減されたかという軽減はされなかった気がします。でも、子育てについて具体的なイメージを持つことができました。
10 ※	あまりお子さんが私たちに近づいてくれる感じはなかったんで少し寂しさも感じながらも、お母さんのすごさを感じることができました。ただ、様々な工夫をされていたお母さんの姿を見て、こんな風に子どものことを考えられて行動できるお母さんになりたいという思いが強くなるとともに、私にこんな風になれるかなとも思い、少し不安にもなりました。

27	想像以上に子どもはアクティブだったということや、言うことをなかなか聞いてくれなかったというのが大きかったです。可愛いなと思ったけど毎日だと大変そう、
30	パワフルなので24時間一緒に入れるか不安になった。 ※
33	意思疎通の難しい年齢の子どもを見ることや、子どもを見ながら掃除や料理などをしなければならない点がとても大変だなと思いました。
48	二人の子どもを、一人で見るとは大変なんだと改めて思ったから。 しかし、子どもと一緒に遊んだり、料理をしたりと、ゆったりと時間が流れる感じはいいなと思った。
50	実際に家庭を見ると、子育ての楽しさよりも大変さが前に来ると感じた。子どもが欲しいということはある程度の覚悟があると感じた。

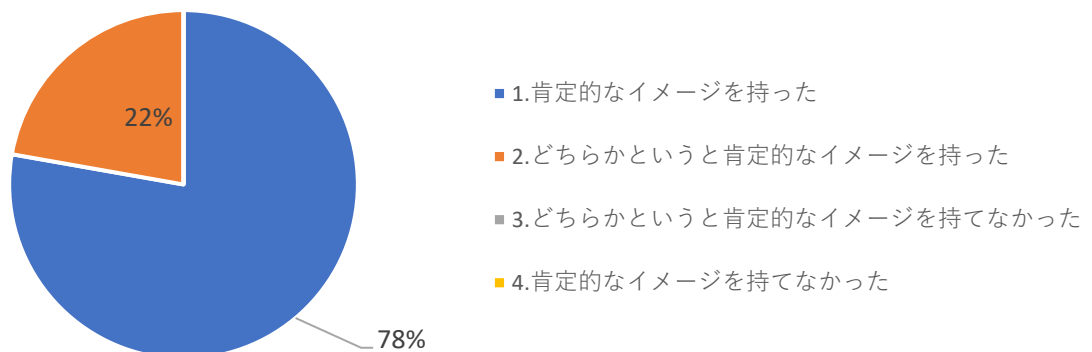
問19: 今回の訪問後に、結婚に対するイメージは変わりましたか？(SA)

	n	%
1.よくなった	45	63%
2.どちらかといえばよくなった	12	17%
3.変わらない	14	19%
4.どちらかといえば悪くなった	1	1%
5.悪くなった	0	0%



問20: 今回の訪問を経験して、将来的に結婚し、家庭を築くことに肯定的なイメージを持ちましたか？

	n	%
1.肯定的なイメージを持った	56	78%
2.どちらかというとき肯定的なイメージを持った	16	22%
3.どちらかというとき肯定的なイメージを持てなかった	0	0%
4.肯定的なイメージを持てなかった	0	0%



問 21 : 今後あなたは、子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いますか？また、どんなことをしてみたいですか？

※マークは、2 回目以降の訪問の回答

1	増やしたいと思った。一緒に遊んだりしたいです。また、学童や保育所などでは大人数を相手にすることになって一人一人と関わる時間が減ってしまうので、小規模保育などで関われる機会が増やせたらいいなと思いました。
2	はい、増やしたいと思います。今回の家庭訪問では 1 歳前後のお子様が多く、アルバイト先でも 1-2 歳のお子様の保育を行うことが多いです。なので、3-5 歳くらいの年齢のお子様と遊ぶ機会を持てるといいなと思います。言葉のやりとりができて成立するような遊びを一緒にしたいです。
3	子どもと触れ合う機会は今まで以上に、もっと持ちたいと思いました。やりたいこととしては、今回のような子育て家庭の訪問で少人数で関わるということをもたしたいと思いました。そして 1 日の数時間だけでなく、少し継続的にできればいいなと思いました。
4※	増やしたいと思いました。具体的にこういうのがいいと言う大きな希望があるわけじゃないけど、一緒に遊んだりご飯を食べたりする時間をもちたいと思いました。
5	今まで子どもと関わる機会としては、幼稚園での 1 日実習くらいだったため、乳児との関わりも増やしたいなと思いました。保育園でのバイトも考えていますが、今回のような家庭への訪問もまたやりたいと考えています。
6※	はい、増やしたいと思います。3-5 歳くらいの年齢のお子様と遊ぶ機会を持てるといいなと思います。言葉のやりとりができて成立するような遊びを一緒にしたいです。
7※	2 回目のパパママ体験でしたが、どちらもとても楽しい時間になりました。これからも子どもと実際に触れ合う機会を設けていきたいです。
8※	はい、増やしたいと思います。言葉のやりとりができて成立するような遊びを一緒にしたいです。
10※	増やしたいと思った。お母さんの話の中で、子どもの離乳食を作るのが大変という話を聞いて、実際に離乳食を作って食べさせてあげるなどの経験ができればいいなと思いました。
11	もちろん増やしていきたいです。私が目指す理学療法士という仕事は子どもと接する機会ももちろん多くあります。その子どもたちの言い合いをしっかりと理解してあげて、適切な療法を行えるようにするためにも、子どもたちと会話を積極的に行いたいです。
12	増やしたいです。今回は家の中で一緒に遊びましたが、公園などの外で一緒に遊ぶ機会もあればいいなと思います。
13	はい、とても増やしたいと感じました。他にも、色々なボランティア活動やそういった行事に参加したいと感じました。
14	子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いました。現状は、子ども園のバイトやサークルでのイベントや、誘われたボランティアです。
15	今回、子どもと触れ合ってみて、育児が大変な話も聞きましたが、やっぱりとても可愛くて癒されたので、これからもそのような機会があればぜひ参加したいです。小さい子どもであれば、オムツを替えたり、ミルクをあげたり、寝かしつけたり、将来自分がするであろうことを経験したいです。少し大きい子どもだと、一緒に遊んだり、たくさん話したりしたいです。
16	触れ合う機会を増やしたいと思いました。今回は 1 人の子としか関わるができなかったけど、人数が増えたらどうなるのか、どのように対応すれば良いのかなど、分からないことがたくさんなので、保育園や児童館にいて、たくさん子どもたちと一緒に関わりたいです。
17	触れ合う機会を増やしたいと思います。今回泣いている子どもへの対応が上手く出来なかったため、もっと色々な方の接し方を見てみたいと思いました。
18	子どもと触れ合う機会を増やしたいと思います。子どもたちを対象としたお祭りなどにもボランティアとして参加してみたいです。
19	増やしたいと思います。今回の体験を通してさらに子どものことを学びたい、関わりたいという気持ちが強くなりました。次は実際に保育園や幼稚園に行つて子どもと 1 日を一緒に過ごしてみたいと思います。
20	増やしたいと思う。今回のように、幼い子どもと一緒に遊んだり、もう少し大きい子どもと大勢で遊んだり、絵本を読んだり一緒に何かを作ったりしたい。
21	増やしたいです。オムツ替えなどしてみたいです。またお母さんのスキンシップなどが見ることができるからです。
22	今後子どもと触れ合う機会を増やしたいと思います。例えば、廃材を使った遊びや外に出て遊ぶなどをして遊びたいなと思いました。

23	増やしたい。色々な環境で過ごしている子どもとたくさん関わり、子どもをもっと知りたい。今回のように親御さんが感じている出産や子育てについて思うことを聞く経験ができればいいと思う。
24	ボランティアに参加したいと感じました。
25	触れ合う機会をもっと増やしたいと思います。積極的にボランティアに参加したり、学校からの案内など定期的にチェックしていったり、自分から進んで保育園や幼稚園、児童館などに足を運んで子どもと接する機会を自分から見つけにいきたいと思います。
26	増やしたいと思います。一緒に何かを作って遊んだりしたいです。
27	触れ合いの機会を増やすのは大事だなと感じました。子育ての実際の現場で触れ合うことで、イメージが大きく変わりました。またこういった実際のおうちに訪問することをやってみたいです。
28	増やしてみたいと思います。子どもでも年齢によって行動や考え方、知識、言葉など全然違うので、色々な年齢のお子様と遊んだり話したりしてみたいです。
29※	増やしてみたいと思う。子どもでも年齢によって考え方や行動、知識、言葉など全然違うので、さまざまな年齢のお子様と遊んだり話したりしてみたい。
30※	いきなり子育ては難しいと思うので、なるべく触れる機会が増えればなと感じた。抱っこをしてみたい。
31※	ベビーシッターなどをして、特定の子どもとずっと深く関わりたい。
32	子どもと触れ合う機会は多くしていきたいです。私は、自然が好きで子どもたちにも家で遊ぶだけでなく外でも遊んで欲しいのでキャンプをして見たいです。
33	私はあまり実際に触れ合った経験がないので、子どもと触れ合う機会はできるだけ増やしたいと思っています。室内遊びになることが多いので外に出て、いっしょに体を動かしてみたいです。
34	ご飯を食べさせてみたり、公園に連れて行ってみたいと思った
35	触れ合う機会は増やしたいと考えています。保育園や幼稚園での日常的なところで子どもたちと関わりたいです。手遊びや絵本を読むことや外で遊ぶことや給食など一緒にしてみたいです。
36	学校のゼミや、サークル、アルバイト、ボランティアで子どもと接する機会はあるがもっとボランティアをして子どもと関わりたいと思った。
37	増やしていきたいです。今回は選んだおもちゃなどで遊びましたが、今後は子どもたちと一緒に工作などをして、思い出の一つとして残るようなものを作ってみたいなと思いました。あとは外で遊べたらいいなとも思いました。
38	増やしてみたいです。次は、会話ができるくらいの子どもと接してみて、少しでも話せたらいいなと思います。
39	増やしたいと思います。たくさん年齢の子どもたちと触れ合えるような活動に参加したいです。
40	今後、子どもと触れ合う機会を増やしていきたいと強く思います。様々な年代の子どもと関わり、どの年代の子がどういうことが好きなのかを把握したいです。また一日だけではなく何日か続けて生活し、その子のリアルな様子を見てみたいとも思います。
41	増やしたいです。様々な家庭の子どもの日常生活に触れたいです。
42	普段なら全く触れあうことのない0歳の子どもと実際に触れあって、その純粋さと柔らかさにとても感動しました。少し触れたら壊れちゃうのではないかとヒヤヒヤしながら触れあっていましたが、子どもの笑顔を見るたびに癒されていました。
43	増やしたいと思います。子どもと、たくさん触れ合えるようなことをしてみたいです。
44	子どもと触れ合う機会は増やしたいと思います。また、子どもたちはその一瞬一瞬成長しているので、その成長に少しでもプラスになるように関わっていきたくです。子どもたちがやってみたくと思ってることをサポートできるようなことをしてみたいです。
45	子どもたちと触れ合う機会を出来れば増やしたいです。地域の子どもたちを集めてお祭りやフェスティバル的な事をして子どもたちが楽しめるようなイベントをしてみたいです。
46	ぜひ増やしたいと思います。今回のご両親もいらっしゃる状態での触れ合いもまたしてみたいですし、いない状態で複数の子どもと触れ合う機会もあればなと思います。
47	ボランティアの団体などに入って夏休みなど自然教室のリーダーなどをしてみたいと思いました。

48	これからも、増やしていきたいと思う。0歳～3歳までの子どもが好きなので、それくらいの年齢の子どもと、もっともっと関わっていききたい。0歳児を、1日ずっと面倒を見てみたい。
49	増やしていきたいと思います。一緒に遊ぶだけじゃなくて、オムツを替えたり、ご飯をあげたり、将来自分が子どもを持った時にしないといけない事を今のうちに経験したいです。
50	今後も、保育教諭希望でかかわる機会が多いと思うので、特別に増やしたいとは思わない。
51	子どもと関わる仕事につきたいと考えているため、子どもと触れあう機会をつくりたいと常日頃から感じていましたが、この体験を通して、ボランティアに参加するなどより機会を増やしていきたいなと思いました。
52	子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いました。赤ちゃんにミルクを飲ませたり、公園など、外での遊びもしてみたいです。
53	今後も子どもたちと触れ合う機会を増やしていきたいと思います。今回のようにこの取り組みに参加させていただいて、違う年齢の子や同じ年齢でも性別の違う子など様々な子どもたちと関わっていききたいです。
54	今後、子どもと触れ合う機会をもっと増やしたいと思います。保育所や児童館のお手伝いに行ったり、今回のように育児をしているご家庭にお邪魔して、普段育児をしている環境の中で保育をしてみたいと思いました。
55	私は将来子どもに関わる仕事につきたいと考えているのでもう少し子どもと関わる機会を増やしたいと思っています。今回は乳児さんと触れ合ったので、次は幼児さんと関わってみたいです。
56※	増やしたいと思います。いろんな子どもと遊んでみたいです。
57※	増やしたいと思います。少し大きくなって走ったり遊具で遊べたりするようになったら鬼ごっこなどしてみたいです。
58※	子どもと触れ合う機会を増やしてみたいです。子育てに関する事なら様々なことに挑戦してみたいです。
59※	増やしたいと思います。今回のように、離乳食の様子を見させてもらうなど、普段では経験できないようなことを体験したいです。また、今回は年齢の違う子と接して、自分の知識や考え方、接する技術などを高めていきたいです。
60	触れ合いたいです。ご飯を作ってみたいです。そしてお昼寝を見てみたいし、公園で二人で遊んでみたい！
61	増やしていきたいと思う。さまざまなおもちゃを使って子どもと一緒に全力で遊びたい。
62※	増やしたいです。もっと継続的に、子どもや保護者の方と関わる機会を増やしたいです。
63※	増やしたいと思います。子どもだけでなく、親も一緒に関わるようなことがしたい。
64	子ども対象のイベントなどの企画運営をしてみたいです。
65	増やしたいと思います。私は長期休暇に入ると世界各地の子どもたちに会いに行くのが趣味です。色々な子ども達と触れ合う機会をこれからも増やしていきたいし、日本国旗や模造紙などを使用しているような国の子どもたちの手形を集めて一つの作品とかも作って行きたいなと思いました。
66	増やしたいと思いました。今回は1人の子どもに対して3人の大人だったのであまり深く関わるできませんでした。なので、もっと触れ合ったりして関わっていききたいです。
67	増やしたいです。今回の体験の様な家庭に入るような体験がしてみたいです。
68	増やしたいと、とても思います。今後、実習などで、3歳以上の子どもと関わる機会はたくさんあるのですが、乳児さんと関わる機会はあまりありません。だから、乳児さんの沐浴や、おむつを替えることをしてみたいです。
69	ぜひ増やしたいと思う。子どもと朝起きてから寝るまでの一日生活を共にするということをしてみたい。歯磨きや食事、お風呂といった部分で保護者の方の苦勞を体感することができると思う。また、子育ての悩みをもっと聞いてみたい。
70	増やしていきたい。子どもと親がどのように関わっているのかを観察していきたいと思った。
71	増やしたいと思います。私たち大人とあそぶ姿と、小学生や年長児とあそぶ姿は、また違う姿が見られると思うので、対象年齢を変えることで、どのような化学反応が起きるのか観察してみたいです。
72	このようなパパママ体験みたいな事や、託児みたいなことをしたい。
73	増やしたい。保護者のいない中で子どもを預かったり、長時間子どもの様子を観察したりしたい。

74	触れ合う機会を増やしたいと思いました。普段子どもがあまり体験することのないような、落ち葉でたき火をして焼き芋も作るなどの体験と一緒にしてみたいなと思います。
75	増やしたいと思います。今回の経験を通して、子どもと関わることは本当に楽しくて、また自分の学びの一つにもなるなと感じました。今回はお家の中での遊びでしたが、今後機会があればお家の近くの公園に行って、遊具やボールを使って楽しく遊びたいと思いました。
76	幼稚園教諭として子どもと関わりたいという気持ちが強くなった。
77	どんどん増やしていきたいです。もっと一緒に遊んだり、泣いている時にどうやってあやしたらいいのかなどを実際に行きたいです。
78	増やしたいと思います。同じように、家庭に行かせていただき、保育園では見ることのできない、家庭での子どもの姿を見たいです。
79	幼児さんよりも乳児さんと関わる機会はまた少ないと感じています。大学附属の子育て支援総合施設やボランティアに参加して、自ら触れ合う機会を増やしたいと強く感じています。学生も子どももお母さんお父さんも一緒に体を動かせるイベントなんて行ったら楽しいと考えます。
80	子どもと触れ合う機会は増やしたいと思います。今回のように一緒に遊ぶことや、ご飯を食べたり、着替えたりなど普段していることもそれぞれの家庭では方法が違ったりもすると思うので普段のそのままの生活を体験してみたいなと思います。
81	触れ合う機会を増やしたいと思いました。おんぶをあまりしたことないのでおんぶして子どもを寝かせたり、また、子どもがどのような遊びに集中しているかなどを考え、実際に子どもとたくさん運動遊びしたり、感覚遊びをしたりしたいです。
82	園に行ってボランティアなどしてみたり、また家庭に訪問してみたいと思いました。子育て支援ルームのスタッフもしたいです。子どもとも保護者とも会話できるような機会があればいいなと思います。
83	はい、長期休みに子ども園に行かせてもらっているだけなので、もっと小さい子どもと関わりたいと思いました。自分の選んだおもちゃにどう反応するか、自分たちの狙いは合っているのか、など知れたらいいおもちゃを選べると思いました。
84	増やしたいと思います。オムツ替えや食事、抱っこなど実際にやってみないとわからないことも多いと感じました。子どもたちと触れ合う回数を増やして、オムツ替えなどもスムーズにできるようになりたいと感じました。
85	これからも、このように子どもと触れ合う機会があれば積極的に参加していきたいと感じました。性別や年齢が違うだけで、発達も大きく変わって関わり方も様々だと思うので、いろいろな子どもと関わっていききたいです。
86	将来のためにも、もっと増やしていきたいと思います。子どもたちと触れ合ってオムツ交換だったり服の着替えだったり食事の補助などももっとする機会を増やしていきたいと思いました。
87	家庭での普段見られない様子も見ることができたので、他にももっとさまざまなお子様をみてみたいと感じました。

**問 22: 今後も、大学生と子育て世帯のマッチング事業を続けていく場合に、どのようなことが必要だと思いますか？
今回の経験を踏まえて、要望やご意見などをお聞かせください。**

※回答抜粋

- ・人見知りをしている子どもと関わるのが難しかったので、どのようにすればすぐ仲良くなれるのかなど、基礎知識をつけてから関わりたいなと思いました。
- ・今後も大学の授業等で積極的に啓発していけば、今回の私たちのように参加する学生も多くなると思います。
- ・大学生も、子育て世代の家族も、両方が行きやすく関われやすい場所を、増やしていく必要があると思う。
- ・この活動の内容、つまりご家庭に訪問してどんなことを経験したのかや、どんなことを感じたのかなど学生自身の意見や話をたくさん取り上げ、学生の参加を増やす。参加して下さる家庭を増やすために、大きく募集をかけたか、よく目にする場所にポスターを貼り出すことが効果的だと思う。
- ・どんどん周知させていくことが大事かなと思いました。この事業自体を知っている人が周りの友人にいなかったこともあり、当日訪問させていただいた時に、どうすれば良いかわからず、行き当たりばったりのような感じになってしまいました。
- ・あらかじめ経験させてほしい事を親の方に話しておく準備してもらえたり、やり方を教えてくださるので事前準備や事前に連絡を取ることが大切だと思いました。

- ・子育てをする保護者の方々が悩みや不安を保護者同士、お話できるようなお話広場など作ったりするとストレスが軽減されるかなと考えました。
- ・大学生の子育てに対する肯定的な姿勢が必要だと思います。自分が少しでも興味を持つことに対しては何でも挑戦するチャレンジ精神は欠かせないと思います。勇気を出して知らない環境に一度身を置くことで得られるものはかなり大きいと思います。
- ・ご家庭の保護者様も、大学生と触れ合う機会がないとおっしゃっていたので、もっと気軽に触れ合える場を設けられたらいいと思います。
- ・3時間の体験では赤ちゃんもぐずりだしたりして後半はお母さんがあやしたりして大変だったので体験時間目安はもっと短くてもいいのではないかとおもいました。
- ・やっぱり子育てのイメージはなかなか持ちにくいので、実際にお母さんから話を聞くことは、将来子どもを持った時もそうだし、保育士になった時にも役に立つと思います。
- ・家庭に赴くことで「結婚、子育てっていいなあ」と感じる場合もあれば、「やっぱり大変だね」と感じる場合もあると思う。
- ・今回、学内の子育て施設を利用されているご家庭に訪問させて頂いたので、大学に併設されている子育て支援施設との連携や近隣の保育所や幼稚園との連携がますます必要だと思いました。
- ・1回しか訪問前に会う機会がなかったので、どのような子どもなのかよく分からなかったため、短い時間でも何度か会う機会が欲しい。
- ・今回のように機会を設けていただけるのはとてもありがたいです。実習みたいに身構えずに、家での様子を見ることができるので、すごく良かったです。
- ・大学生であればSNSを利用している人も多いと思うので、こういう事業をしているということをTwitterやInstagram、Facebook等のSNSでもっと発信していくべきだと思いました。また、大学生側も保育士や幼稚園教諭を目指している人であればこういう事業はとても興味があると思うので、幼稚園系の学科コースがある大学や短大にも、もっと発信してもいいと思います！
- ・普段から大学生と様々な家庭の意見が聞ける時間を作っておくことや、「家庭」「子育て」について普段からイメージやそれについて考える機会を増やす事で、こういった家庭とのマッチング事業に興味がある人が多くなるのかなと思います。
- ・楽しさやためになることをもっと伝えることや、経験談を学生同士で話すことで、さらに参加者が増えるかなと思いました。

以上